



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成28年12月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成28年9月	平成28年12月	前回調査比
茨城県	44.2	47.3	+3.1
県北地域	42.5	50.0	+7.5
県央地域	50.0	47.8	△2.2
鹿行地域	42.1	45.2	+3.1
県南地域	43.8	49.2	+5.4
県西地域	42.5	44.4	+1.9

《景気の先行き判断DI》

	平成28年9月	平成28年12月	前回調査比
茨城県	47.6	46.7	△0.9
県北地域	48.7	43.4	△5.3
県央地域	49.2	46.6	△2.6
鹿行地域	49.6	46.9	△2.7
県南地域	47.5	48.8	+1.3
県西地域	43.0	47.8	+4.8

平成29年1月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

I 調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、太子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体系数】

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	290 人	96.7%
県北地域	60 人	57 人	95.0%
県央地域	60 人	58 人	96.7%
鹿行地域	60 人	57 人	95.0%
県南地域	60 人	60 人	100.0%
県西地域	60 人	58 人	96.7%

4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断 (方向性)
- (2) (1) のコメント (理由)
- (3) 景気の先行きに対する判断 (方向性)
- (4) (3) のコメント (理由)
- (5) その他景気に関する意見 (自由回答)

5 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成28年12月調査の調査期間は、平成28年12月1日から平成28年12月31日である。

6 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方角性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方角性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

Ⅱ 調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは47.3となった。平成28年9月の調査（以下、「前回調査」という。）より3.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

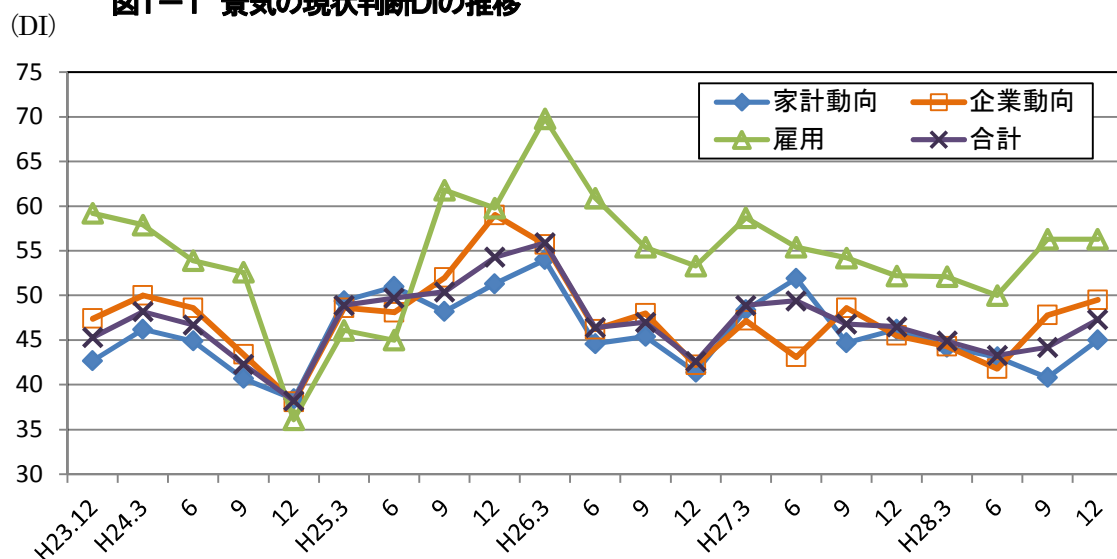
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月				
	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月
合計	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3
家計動向関連	46.2	44.2	43.1	40.8	45.0
小売関連	46.2	40.7	39.8	39.6	43.1
飲食関連	39.6	40.2	44.8	37.5	46.9
サービス関連	47.2	46.6	44.2	42.0	45.9
住宅関連	56.3	55.6	52.8	47.2	47.2
企業動向関連	45.5	44.3	41.8	47.8	49.5
農林水産業	50.0	43.8	50.0	43.8	50.0
製造業	41.3	43.9	37.2	46.4	50.5
非製造業	50.0	45.0	46.4	50.7	47.9
雇用関連	52.2	52.1	50.0	56.3	56.3

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成27年12月	0.7%	18.9%	53.1%	20.0%	7.3%
平成28年3月	0.4%	17.7%	50.2%	24.7%	7.0%
平成28年6月	0.7%	14.7%	50.0%	26.2%	8.4%
平成28年9月	1.7%	13.7%	51.5%	25.8%	7.2%
平成28年12月	2.4%	17.6%	53.1%	20.7%	6.2%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(月)

(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは46.7となった。前回調査より0.9ポイント低下し、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

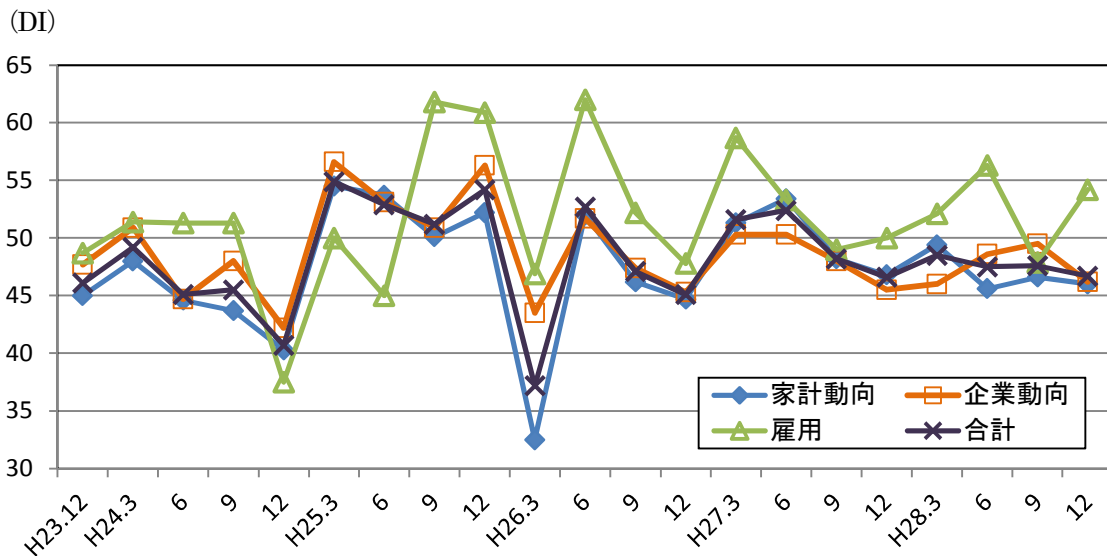
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月
合計		46.6	48.5	47.5	47.6	46.7
家計動向関連		46.8	49.4	45.6	46.6	46.0
小売関連		45.8	47.2	43.4	45.4	48.2
飲食関連		49.0	45.7	51.0	56.3	42.7
サービス関連		46.9	51.7	45.8	44.9	44.2
住宅関連		46.9	52.8	44.4	44.4	52.8
企業動向関連		45.5	46.0	48.6	49.5	46.2
農林水産業		43.8	46.9	56.3	43.8	31.3
製造業		44.6	48.9	49.5	49.0	45.8
非製造業		47.1	42.1	45.7	51.4	50.0
雇用関連		50.0	52.1	56.3	47.9	54.2

表1-4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成27年12月	0.4%	15.3%	59.6%	20.0%	4.7%
平成28年3月	0.7%	18.5%	59.8%	16.2%	4.8%
平成28年6月	1.8%	17.9%	54.7%	19.6%	6.0%
平成28年9月	1.4%	19.2%	54.6%	17.9%	6.9%
平成28年12月	0.7%	17.2%	56.9%	18.6%	6.6%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



(月)

2 地域別の動向

(1)景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断DIは50.0となった。前回調査より7.5ポイント上昇し、横ばいを表す50となった。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		46.3	44.9	42.7	42.5	50.0
家計動向関連		46.8	42.2	39.3	34.6	45.6
企業動向関連		44.7	47.2	47.4	53.9	56.6
雇用関連		50.0	56.3	50.0	56.3	56.3

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	0.0%	20.4%	50.0%	24.1%	5.6%
平成28年3月	1.9%	16.7%	51.9%	18.5%	11.1%
平成28年6月	0.0%	20.7%	41.4%	25.9%	12.1%
平成28年9月	1.8%	17.5%	38.6%	33.3%	8.8%
平成28年12月	0.0%	28.1%	47.4%	21.1%	3.5%

② 県央地域

景気の現状判断DIは47.8となった。前回調査より2.2ポイント低下し、横ばいを表す50を2期ぶりに下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		47.8	43.0	40.9	50.0	47.8
家計動向関連		46.6	42.4	42.6	45.5	44.6
企業動向関連		45.3	39.1	34.4	57.8	48.4
雇用関連		65.0	60.0	50.0	60.0	70.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	1.7%	19.0%	55.2%	17.2%	6.9%
平成28年3月	0.0%	17.5%	45.6%	28.1%	8.8%
平成28年6月	1.7%	8.6%	50.0%	31.0%	8.6%
平成28年9月	6.7%	15.0%	55.0%	18.3%	5.0%
平成28年12月	3.4%	15.5%	56.9%	17.2%	6.9%

③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは45.2となった。前回調査より3.1ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月
合計		48.2	45.8	46.1	42.1	45.2
	家計動向関連	47.0	48.4	47.7	41.9	44.1
	企業動向関連	50.0	41.7	42.1	40.3	44.4
	雇用関連	50.0	45.0	50.0	50.0	55.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	0.0%	17.9%	60.7%	17.9%	3.6%
平成28年3月	0.0%	18.5%	51.9%	24.1%	5.6%
平成28年6月	1.8%	7.0%	66.7%	22.8%	1.8%
平成28年9月	0.0%	12.3%	54.4%	22.8%	10.5%
平成28年12月	1.8%	8.8%	63.2%	21.1%	5.3%

④ 県南地域

景気の現状判断DIは49.2となった。前回調査より5.4ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を4期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月
合計		50.5	47.7	48.3	43.8	49.2
	家計動向関連	50.0	47.5	48.5	39.6	50.7
	企業動向関連	51.3	48.7	47.4	47.4	44.7
	雇用関連	50.0	45.0	50.0	60.0	55.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	1.9%	20.8%	56.6%	18.9%	1.9%
平成28年3月	0.0%	20.4%	51.9%	25.9%	1.9%
平成28年6月	0.0%	24.1%	50.0%	20.7%	5.2%
平成28年9月	0.0%	8.3%	63.3%	23.3%	5.0%
平成28年12月	3.3%	16.7%	58.3%	16.7%	5.0%

⑤ 県西地域

景気の現状判断DIは44.4となった。前回調査より1.9ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

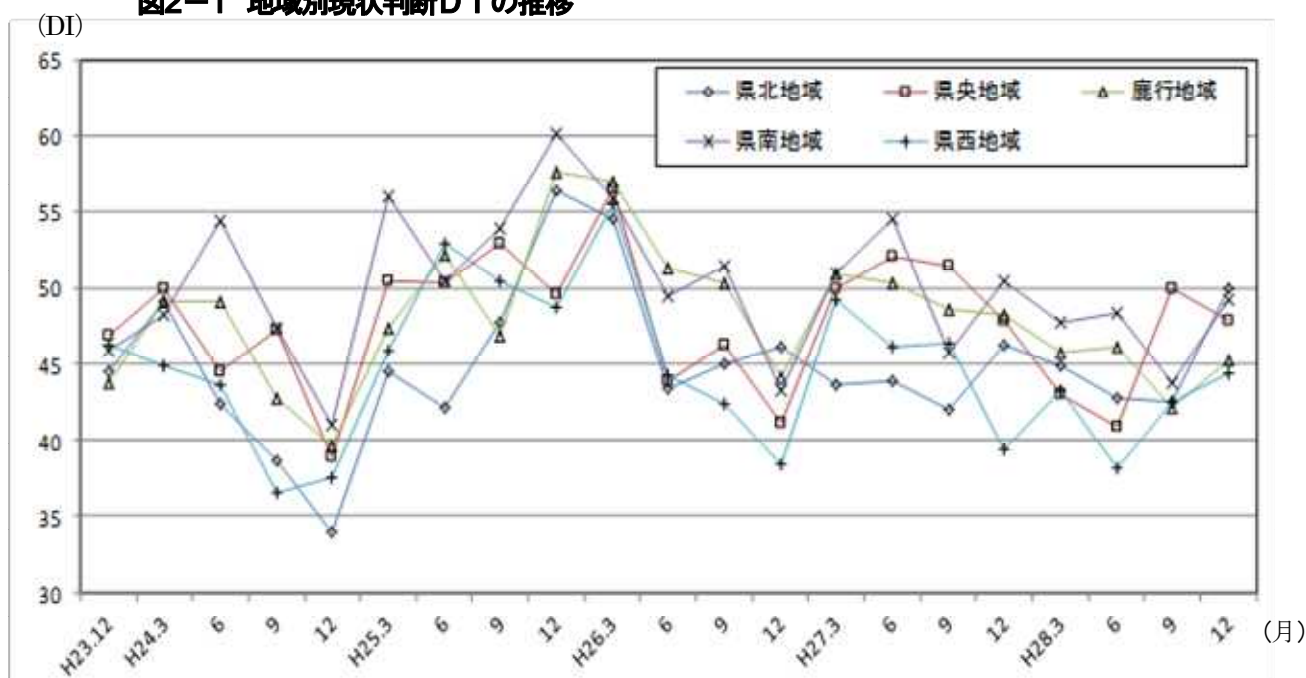
表2-9 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		39.4	43.3	38.2	42.5	44.4
家計動向関連		40.6	40.8	37.1	41.7	39.7
企業動向関連		35.3	44.1	36.8	40.8	52.6
雇用関連		45.0	55.0	50.0	55.0	45.0

表2-10 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	0.0%	16.7%	42.6%	22.2%	18.5%
平成28年 3月	0.0%	15.4%	50.0%	26.9%	7.7%
平成28年 6月	0.0%	12.7%	41.8%	30.9%	14.5%
平成28年 9月	0.0%	15.8%	45.6%	31.6%	7.0%
平成28年12月	3.4%	19.0%	39.7%	27.6%	10.3%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	23.12	24.03	24.06	24.09	24.12	25.03	25.06	25.09	25.12	26.03	26.06	26.09	26.12	27.03	27.06	27.09	27.12	28.03	28.06	28.09	28.12
県全体	45.3	48.2	46.7	42.3	38.2	48.9	49.7	50.4	54.3	55.9	46.4	47.0	42.6	48.9	49.4	46.8	46.5	44.9	43.3	44.2	47.3
県北	44.5	49.1	42.4	38.6	33.9	44.5	42.1	47.7	56.4	54.6	43.4	45.0	46.1	43.6	43.9	42.0	46.3	44.9	42.7	42.5	50.0
県央	46.8	50.0	44.5	47.2	38.9	50.5	50.4	52.9	49.6	56.5	43.9	46.2	41.1	50.0	52.1	51.4	47.8	43.0	40.9	50.0	47.8
鹿行	43.4	49.1	49.1	42.8	39.7	47.3	52.2	46.9	57.7	57.0	51.3	50.4	44.1	50.9	50.4	48.6	48.2	45.8	46.1	42.1	45.2
県南	45.9	48.2	54.4	47.3	41.0	56.1	50.5	53.9	60.1	55.9	49.5	51.4	43.6	50.9	54.5	45.8	50.5	47.7	48.3	43.8	49.2
県西	46.2	44.9	43.6	36.6	37.5	45.9	53.0	50.5	48.7	55.6	44.2	42.4	38.4	49.2	46.1	46.4	39.4	43.3	38.2	42.5	44.4
全国	47.0	51.8	43.8	41.2	45.8	57.3	53.0	52.8	55.7	57.9	47.7	47.4	45.2	52.2	51.0	47.5	48.7	45.4	41.2	44.8	51.2(原数値) 51.4(季節調整値)

(2)景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは43.4となった。前回調査より5.3ポイント低下し、横ばいを表す50を7期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月
合計		47.7	43.1	46.1	48.7	43.4
	家計動向関連	48.4	43.0	41.4	47.8	44.1
	企業動向関連	46.1	44.4	51.3	52.6	43.4
	雇用関連	50.0	37.5	62.5	37.5	37.5

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	0.0%	16.7%	59.3%	22.2%	1.9%
平成28年3月	0.0%	18.5%	42.6%	31.5%	7.4%
平成28年6月	0.0%	22.4%	51.7%	13.8%	12.1%
平成28年9月	3.5%	21.1%	50.9%	15.8%	8.8%
平成28年12月	0.0%	12.3%	57.9%	21.1%	8.8%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは46.6となった。前回調査より2.6ポイント低下し、横ばいを表す50を2期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年 12月	平成28年 3月	平成28年 6月	平成28年 9月	平成28年 12月
合計		46.1	51.3	53.9	49.2	46.6
	家計動向関連	47.3	50.7	51.4	45.5	43.9
	企業動向関連	39.1	51.6	59.4	57.8	46.9
	雇用関連	60.0	55.0	55.0	50.0	65.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	1.7%	12.1%	58.6%	24.1%	3.4%
平成28年3月	3.5%	15.8%	68.4%	7.0%	5.3%
平成28年6月	6.9%	22.4%	53.4%	13.8%	3.4%
平成28年9月	3.3%	20.0%	51.7%	20.0%	5.0%
平成28年12月	0.0%	17.2%	60.3%	13.8%	8.6%

③ 鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは46.9となった。前回調査より2.7ポイント低下し、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		48.2	48.1	46.4	49.6	46.9
	家計動向関連	49.2	50.8	47.7	50.0	44.9
	企業動向関連	45.8	43.1	40.8	48.6	50.0
	雇用関連	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0

表2-16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	0.0%	14.3%	67.9%	14.3%	3.6%
平成28年3月	0.0%	11.1%	74.1%	11.1%	3.7%
平成28年6月	0.0%	12.5%	62.5%	23.2%	1.8%
平成28年9月	0.0%	15.8%	71.9%	7.0%	5.3%
平成28年12月	0.0%	12.3%	66.7%	17.5%	3.5%

④ 県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは48.8となった。前回調査より1.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を6期連続で下回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		49.1	49.1	48.7	47.5	48.8
	家計動向関連	48.3	50.0	45.6	46.5	51.4
	企業動向関連	50.0	46.1	51.3	50.0	42.1
	雇用関連	50.0	55.0	60.0	45.0	55.0

表2-18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	0.0%	20.8%	56.6%	20.8%	1.9%
平成28年3月	0.0%	20.4%	61.1%	13.0%	5.6%
平成28年6月	1.7%	19.0%	53.4%	24.1%	1.7%
平成28年9月	0.0%	18.3%	56.7%	21.7%	3.3%
平成28年12月	1.7%	20.0%	56.7%	15.0%	6.7%

⑤ 県西地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.8となった。前回調査より4.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を3期連続で下回った。

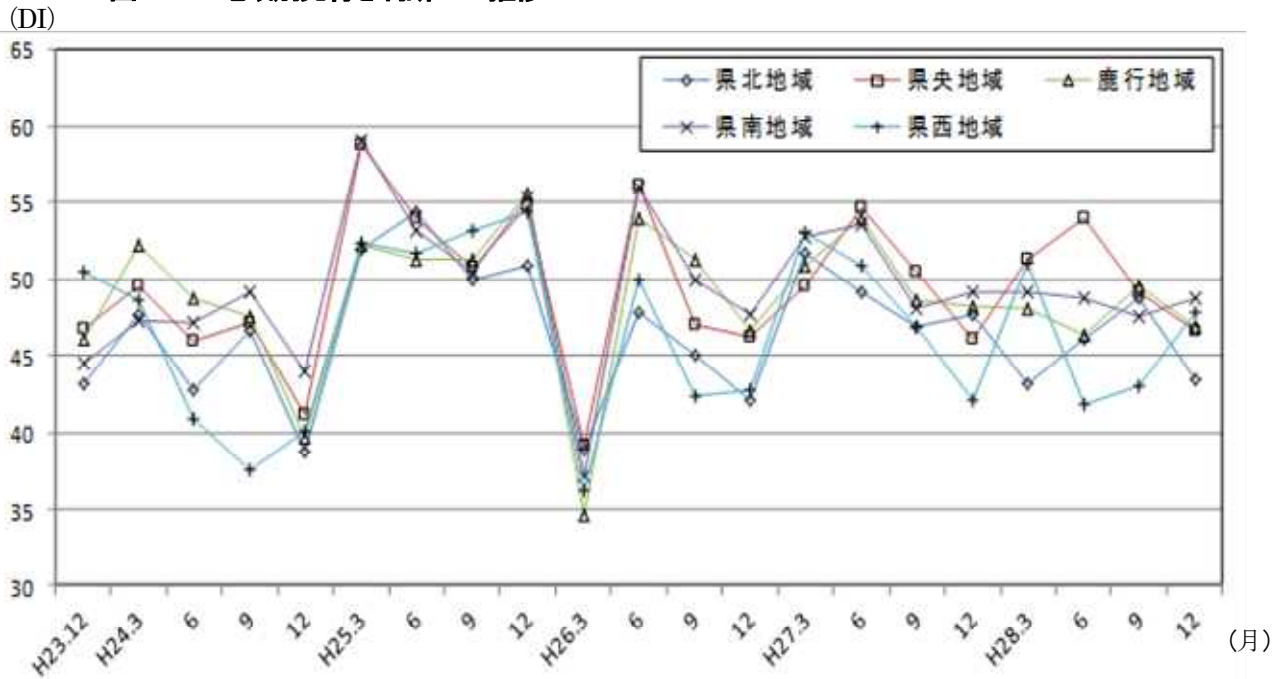
表2-19 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成27年	平成28年	平成28年	平成28年	平成28年
		12月	3月	6月	9月	12月
合計		42.1	51.0	41.8	43.0	47.8
家計動向関連		40.6	52.5	39.5	43.2	45.6
企業動向関連		45.6	45.6	42.1	39.5	48.7
雇用関連		40.0	60.0	55.0	55.0	60.0

表2-20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成27年12月	0.0%	13.0%	55.6%	18.5%	13.0%
平成28年3月	0.0%	26.9%	51.9%	19.2%	1.9%
平成28年6月	0.0%	12.7%	52.7%	23.6%	10.9%
平成28年9月	0.0%	21.1%	42.1%	24.6%	12.3%
平成28年12月	1.7%	24.1%	43.1%	25.9%	5.2%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	23.12	24.03	24.06	24.09	24.12	25.03	25.06	25.09	25.12	26.03	26.06	26.09	26.12	27.03	27.06	27.09	27.12	28.03	28.06	28.09	28.12
県全体	46.1	49.1	45.1	45.5	40.7	54.9	52.9	51.2	54.2	37.1	52.7	47.1	45.1	51.6	52.4	48.2	46.6	48.5	47.5	47.6	46.7
県北	43.2	47.7	42.8	46.6	38.8	52.0	54.4	50.0	50.9	38.9	47.8	45.0	42.1	51.7	49.1	46.9	47.7	43.1	46.1	48.7	43.4
県央	46.7	49.5	45.9	47.2	41.2	58.8	53.9	50.8	54.8	38.9	56.1	47.0	46.2	49.6	54.6	50.5	46.1	51.3	53.9	49.2	46.6
鹿行	46.1	52.2	48.7	47.5	39.7	52.2	51.3	51.3	55.5	34.6	53.9	51.3	46.6	50.9	53.9	48.6	48.2	48.1	46.4	49.6	46.9
県南	44.5	47.3	47.1	49.1	43.9	59.0	53.2	50.5	55.3	37.2	56.0	50.0	48.2	52.7	53.6	48.1	49.1	49.1	48.7	47.5	48.8
県西	50.5	48.6	40.9	37.5	40.1	52.3	51.7	53.2	54.3	36.2	50.0	42.4	42.7	53.0	50.9	46.9	42.1	51.0	41.8	43.0	47.8
全国	44.4	49.7	45.7	43.5	51.0	57.5	53.6	54.2	54.2	34.7	53.3	48.7	46.7	53.4	53.5	49.1	48.2	46.7	41.5	48.5	49.0(原数値) 50.9(季節調整値)

《調査期間前後の主な出来事》

- 9/17～11/20 県北芸術祭
- 10/1 めぶきフィナンシャルグループ発足（1日）。常陽銀行と足利銀行の統合。
- 10/3 笠間市出身の畑岡奈紗選手が2016日本女子オープンゴルフ選手権で優勝
- 11/9 アメリカ大統領選挙開票日：トランプ氏当確
- 11/10 環太平洋経済連携協定（TPP）承認案と関連法案可決：衆院11/10、参院12/9
- 11/24 関東で記録的に早い初雪。水戸31年ぶり、東京54年ぶり、つくば4cm、水戸1cmの積雪。
- 11/30 OPEC原油減産合意
- 12/2 鹿島アントラーズがリーグ優勝。12/18：FIFAクラブワールドカップジャパン2016で準優勝。
- 1/6 日野自動車古河工場全面稼働
- 2/26 圏央道、県内区間全面供用開始。東名・中央・関越・東北・常磐・東関東自動車道の6つの高速道路が圏央道で結ばれる。
- 2/28 西武筑波店閉店

III 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】 (－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	小売業（時計）	他地区の方達（遠来）の修理依頼が増えてきている。
		スナック	デパートの物産展等の人出の多さ、週末の道路混雑を見たりして。
		中国料理店	12月は、ボーナスの時期でもあるのですが、お客様の単価が上がっていると思います。
		食堂	食事後飲み物をオーダーする客が増えました。中には大盛りを食べ、子どもに分ける客もいます。
		観光型ホテル	宿泊予約は前年同期とほぼ変わらないが、日帰り宴会の予約が好調であり、売上げも多少上がると予想している。
		レジャー施設	例年より、やや利用者が増えた。
		ゴルフ場	7～9月は、天候不順で前年比8月78%で落ち込んだ。10月前年比101%で挽回中。当月1日での出足状況と比較すると、3か月前（7～9月）の出足は計画比71%が12月は83%に上昇中。+12%良くなっている。
	企業	製造業（電気機械器具）	12月は11月より受注金額が減少する傾向にありましたが、今月は受注金額が増加したこと、前年より受注金額が大きいことから、景気はやや良くなっていると判断しました。
		製造業（電気機械器具）	作業量は以前より増えている。相変わらず、部署による作業量の差が激しい。
		製造業（食料品）	今まで売上げは毎年厳しかったが、11月頃より伸びている。昨年比104%（11月）12月も良い状態。
		製造業（化学工業）	取引先の間接決算等の状況を聞くと「増収増益」の企業が多くある。
		製造業（電気機械器具）	部品のリニューアルを中心に、受注額、売上額がアップした。
		製造業（一般機械器具）	生産現場の仕掛品が増えている。
		製造業（精密機器）	周りの会社も利益が出ていそうだ。
	運輸附带サービス業	休みが取れない等の話が入ってくる。紅葉等の観光地が賑わっていた。	
雇用	公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数が増加傾向を示しているため。最近3か月では「サービス業」、「生活関連サービス・娯楽業」、「製造業」で求人が増えている。（対前年同期比）	
変わらない	家計	スーパー	ほんとに何ひとつ変わらない。
		コンビニエンスストア	客数は増加傾向にあるが客単価が減少し、売上高が横這い。お客様の財布の紐が固くなっている様子が伺える。
		衣料品販売店	来店数が少ない。
		自動車販売店	特筆する理由はありませんが、消費者の購買意欲が高くなっているとも思えず、現状維持です。
		小売業（弁当・惣菜店）	売上げの伸びは見られず、横這いといった感じである。
		小売業（燃料）	購買の様子、内容に特に変化はない。
		レストラン	お客様の流れで。
		旅行代理店	3か月前と今月を、前年と比較しても受注、売上げは変化ない。
		タクシー運転手	タクシーの景気が上向くポイントは、①企業の景気が良くなり人・物の動きが多く広がる。②飲食街に動きがあり、タクシーの需要が多くなる。③営業区域近辺で大きなイベント（音楽イベント、スポーツイベント）等が開催される。①～③のうち、何かがあれば売上げに寄与してくれる。この3か月これといったものが残念ならなかったように思う。それで「変わらない」とした。
		タクシー運転手	お客様の様子から上向きになる要素があまりない。

変 わ ら な い	家計	ゴルフ場	地元、首都圏の方に関わらず良い話はない。
		ゴルフ場	予約状況や客単価等で大きな変化はない。
		ボウリング場	団体利用のお客様が、週末を中心に増加傾向にあるものの、一般利用のお客様が、例年並みか、若干の減少の状態。年末年始に混雑が予想されるものの、判断としては3か月前と変わらないとみられる。
		住宅販売会社	特に変化は感じられない。ボーナスもあまり変わらないという声を聞く。
	企業	林業関係者	大きな景気の流れはない。
		製造業（食料品）	3か月前と比較して特に大きな変動はない。
		製造業（輸送用機械器具）	次期米国大統領がトランプに決定し、米国内を優先した政策によって米国内の経済が好転するとの期待感からドル買い円売りとなり為替が急激に¥100から¥110代/\$に変化した。この状況が継続すれば自動車等輸出産業での利益拡大が期待でき景気上昇の要因となりうる。現在の国内自動車販売は依然ハイブリット車や安全システムを搭載した新車を投入し購買意欲を盛り立てようとしているが厳しい状況（前年割れ）が継続している。海外では中国市場が大幅な回復（前年比増）をしているが、北米はやや陰りが出はじめている状況。
		製造業（精密機器）	業界によって違いが出てます。車関係は横這いより減少してますが、半導体は上向きです。その他も上向いている感じがします。
		運輸業	特に前回調査時と状況は変わっていない。
		金融業	㈱日立製作所を主体にその関連企業、下請け、孫請け企業が立地する企業城下町であるため、日立製作所への経済依存度は高く、左右されやすい。㈱日立製作所は電力等に特化しているが、三菱重工業との組織改革等の影響から地元への発注は低調に推移しているものと思慮し、従前から変化はない。
		不動産業	市場の盛り上がりを感じない。
		情報通信業（情報サービス業）	商談も増えず、特に変化が感じられない。
	雇用	求人広告	良くも悪くも特筆した事例がなかった。
学校就業関係者		求人の問合せはなくなったが、時期的なものである。	
求人開拓員		一番の目安は、日立～北茨城市内のガソリンスタンドでの価格調査、現在のレギュラー119円～117円、灯油は55円～57円になっています。冬場のこれからは特に灯油価格は家庭の中でも比重が高くなる出費なので、3か月前と現在はまだ同じぐらいと判断します。（まだ、本格的な需要期前と見たので）	
や や 悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	工事は年末を控え、ようやく忙しくなってきたが、店売りの方はさっぱり。定時に店を閉める日が続いている。
		スーパー	野菜の価格が高止まりとなり、この季節の鍋物などの材料となる基礎野菜の代替がなかなか見つからないため、食品関連が売れていない。イチゴなども不作で、売るものがない。
		コンビニエンスストア	店舗での客数減が続いていることと、より単価の安い商品の販売が増えている。
		農産物直売所	東北芸術祭等のイベントがあったのに、売上げは昨年と同程度。客単価が下がった。
		小売業（酒類）	景気は改善されない。飲食店の皆様も忘年会等、昨年より予約少ないとのこと。
		小売業（水産物）	売上げが伸びない。
		タクシー運転手	買い物に行くとなんてか値段が高くなっている。
		ドライブイン	入込客数と客単価が減少している。天候に左右されることが多々あるが、必要最低限のお土産で済ませている様子が伺える。
		写真店	七五三シーズンが終了したから。
企業	水産業関係者	労働環境の悪循環など度々耳にする。現役世代の非正規雇用の増加に伴う歪みを感じた。	
	製造業（電気機械器具）	製作する案件量が減ってきている。	
	建設業	特に建築工事の見積り件数やお客様の話から、景気は後退していると思う。	
悪	家計	商店街代表者	売上げの、今月の前年比と3か月前の前年比を比べると、今月の前年比の方が落ちている。

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	農業関係者	秋の収穫を終え、販売代金による収入があった。
	雇用	公共職業安定所	有効求人倍率、11月1.51倍・9月1.38倍の状況であり、求人状況が良好である。
やや良くなっている	家計	百貨店	歳暮・クリスマス商戦中で3か月前に比べ来店客数、売上げともに伸ばしている。
		スーパー	夏季に比べると衣料品、食料品とも相対的に持ち直している感じはするが、全体では昨年度売上げを確保できていない。
		割烹料理店	今月は忘年会シーズンということもあり、3か月前よりは良くなると思います。
		タクシー会社	水戸駅ご利用のお客様で、県外よりタクシーを利用されるお客様が増加している。特に、県外客はクレジットカード利用の方が多く、電子決済機による支払い状況確認すると、利用客の70%が県外よりの方々でした。前年同月比でも126%の伸び率で推移しております。一方県内のお客様利用状況に変動なく、ゆるやかに上昇したと判断します。
		レジャー施設	当館の入場者が増えたと言うことでなく11月は、地震などもあったが県北を主に市町村のイベントなどに出かけた方が多かったと感じている。当館は屋内施設で入場者が前年同月を下回った。土日の天候がよく、アウトドアへの感じが強く、「出かける」方が多かったことから「やや良くなっている」と判断した。
	企業	製造業(精密機械器具)	自社製品の基幹製品の売上げが伸びた。
		サービス業(広告業)	年末商戦への広告宣伝は、昨年と同様に広告出稿も増えている。9～10月の広告出稿が少なかった分追いついてきた感はある。
	雇用	人材派遣業	人材を増やす企業様が増えている。
		求人開拓員	来館人数などは、若干減少気味ではありますが。年齢的に見ると若年者(～34歳)といわれる方々が少ないのですが40代から50代が増加傾向にあります。採用においては増加傾向にある。ただ非正規雇用が多い。当センターは、女性の社会進出によりパートや期間(期間を定めた労働)等の採用があり、いろいろな働き方にも対応しております。一家の家計収入は増加しているのではないでしょう。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			毎年、9月より11月、12月は忙しくなり少し景気が回復したように思うのが年末でした。しかし、特に今年は来店客数、売上げが悪いまま変わらない状態が続いており厳しい。
百貨店			買い物には、慎重に品を選んでいるのは変わらない。もしかすると慎重に買い物をするに慣れてしまい、衝動買いなどはしなくなったのかもしれない。
スーパー			為替など影響も含めて、デフレが始まっている。天候影響により生鮮野菜高騰が長引いているが、いろいろ他の食材で安いものを買わないとならない状況。
スーパー			客数・供給ともに変化がない。
スーパー			相変わらず、財布の紐が固いようで、1人当たりの売上金額が低迷している。
コンビニエンスストア			経済的にお客の財布は固く考えます。しかしながら年末に向けての消費は曜日回りを考え、市場としては好調になると考えます。
自動車販売店			業界内の対前年や数か月前の数字がほぼ横這い。
農産物直売所			ギフト商品、飲食、こだわり商品の売行きが前3か月と平年比で変わらない。
レストラン			年末になり動きは出てきたが例年のことで、特に予約が大きく伸びたとか、個人消費が急に増えたとかは変わらない。
レストラン			良くなる要因がない。
都市型ホテル			忘年会のシーズンとなったが予想通り伸びがなく、昨年同程度までは伸びそうだが、良くはなっていない。
観光型ホテル			個人の旅行についてはシニア層の他にファミリー層も目立ってきているが、一般団体は弱含みである。
旅行代理店			県北エリアの芸術祭等に期待しましたが、県内からのお客様が多く、宿泊等には結びつかなかった。
旅行会社			バス料金の改定があり、バス代金が上がった。ツアー料金も値上げしたため集客が良くないです。
タクシー運転手			今年の企業のボーナス支給額は業種により大部異なる。売上げについて前年比と3か月前(9月)の前年比を比べるとほぼ横這いになっているため、3か月と比較して今月の景気は変わらないと判断する。
タクシー会社	売上げが横這い状態なので。		

変 わ ら な い	家計	観光名所	3か月前は秋の行楽シーズンに入り例年多くのお客様が足を運んでくれたが、今年例年より来客数が少なく厳しい売上げが続いている状況にあります。夏頃まではポケモンブームもあり、観光地として特需があったが、ブームも下火になり、相乗効果であった売上げも見込めないと思われます。
		レジャー施設	特に変化は感じられません。
		建築設計事務所	公共工事による指名入札の数が減少傾向にあり、落札額もダンピング傾向である。発注はプロポーザル方式が増えるきているが審査ハードルも高く、大手事務所が強く、小規模事務所の受注は難しい傾向である。
		住宅販売会社	住宅販売という特徴上、年末商戦の影響もなく、特に変化は見受けられない。
	企業	製造業(食料品)	スポットでの仕事量増加があったが、全体的には横這い感が強い。
		製造業(食料品)	9月も前年に比べて非常に売行きが悪かったが、11～12月も同様に悪い。
		製造業(印刷・同関連業)	売上げは3か月前と同様に前年を下回って推移している。
		製造業(印刷・同関連業)	受注量が減少している。
		建設業	都市部の勢いが全く感じない。
		運輸業(道路貨物運送業)	運送貨物の出荷量に大きな変化が見られない。
		金融業	業種によって差はあるものの、全体的に売上が横這いに推移している企業が多く、依然として設備資金の他、運転資金の資金需要においても慎重であり、3か月前と比較しても景気の変化はないと思われる。
		情報通信業(情報サービス業)	地場市場の動きは、相変わらず停滞気味であり、景気は横這いと感じる。顧客様子から、投資等に関しては、何らかの刺激材料が出てくれば動き出すのではないかと期待するが、不安定であった円や株などの動きも、決断を難しくしていたと思われる。
	サービス業(コンサルタント業)	仕事量、内容共に3か月前とあまり変わらない。	
雇用	求人広告	特に良い話も聞かない。	
	学校就業関係者	企業の人事担当者との情報交換の中で3か月前と変わったとの情報は聞けていない。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	年末商品が不振で、ギフトや予約商品等が前年を大きく割っている。
		コンビニエンスストア	昨年、そして3か月前に比べ客数は増えているが、客単価が下がり続けている。
		小売業	空港の来場者(搭乗者含む)の下落率以上に、売上げの下落率が高い。
		レストラン	宴会の打合せで、予算が少ない企業が増えてきている。レストランの客数も減ってきている(個人消費)。
		ゴルフ場	ここ数年、冬場の来場者は減少傾向が進んでる。12月～年明け2月まで来場者が増えることは予想しがたく、厳しい状況が続くものと考えております。
		ゲームセンター	9月に一度上昇になりましたが、10月11月と前年を大きく割り込む結果です。アミューズメントゲーム機に加え、景品にも目立ったヒットがありませんでした。週末の天候が良く、地域の大型イベントに重なったのも原因とみています。
		スーパー銭湯	今秋前半のたび重なる台風襲来から始まり、季節はずれの雪や季節にあった気温に定まらず、12月に入っても同様な天候は続いているため気分的にも師走の雰囲気が出ていないからか、イルミネーションも引き立っていないように見える。全体的に景気は下降しているように感じられます。早く寒くなってもらいたいと思っている人が多いのではないかと思います。
企業	製造業(金属製品)	3か月前と同様。フル稼働が続いているが、受注残をこなしている状況です。先々の仕事量にやや不安があります。	
	製造業(一般機械器具)	全ての客先、元気ない。作業量が70%ほどになってしまった。	
	不動産業	以前は好条件で予算は低く見ている方が多かったが、最近条件も楽々と考える方が減り低予算重視の方が増えている。	
悪 く な っ て い る	家計	楽器販売	来店客数が減少。学校関係の販売がこれまでになく上がらない。メーカーの商品供給が遅い。
		ドライブイン	観光地でありながら、お客様の来店もとっても少なかった。厳しい状況であります。(前年対比も平均20%減となっています)
		ペット美容室	夏が終わり、年末の予約待ちしているのだと思う。
企業	製造業(窯業・土石製品)	仕事量が極端に減っている。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	観光名所	コメント
良	家計	家電販売店	各企業共に賞与月を迎えたことによる購入単価ダウンはしているものの、客数前年比で前年を上回っていることから、景気が上向いていると判断する。
やや良くなっている	家計	スーパー	8、9月は台風や悪天候が多く厳しかったですので、やや良くなっているというよりはそれ以前に戻りつつあるという状況です。内容的には野菜等の相場高もあり、売上面では多少牽引しているが決していい状況ではない。
		小売業（菓子類）	3か月前の売上げは対前年比変わらずだったが、今月は対前年比の売上げは少しだが良くなっている。
		洋食食堂	この三年の間、新しい戦力を得てずっと売上げを伸ばし続けている。まだ少し余力があると思っています。
		住宅販売会社	住宅ローンの金利上昇を見越して、徐々にだが動き始めてきた。
	雇用	学校就職関係者	就職の希望者の内定率が良い。各企業から求人依頼が多い。（求人企業からは、専門性がなくとも人が欲しいとのこと）
変わらない	家計	商店街代表者	開業者もあるが、廃業もそれを上回る状況である。根本的な景気浮揚策が待たれる。
		スーパー	売上げ横這い。
		コンビニエンスストア	商品単価が上がり、売上げは伸びているが客数が伸び悩んでいる。
		農産物直売所	ここ最近、変わらず、悪くはないが、決して良くなっていない現状です。お客様の購買意欲自体に変化なし。年末に差し掛かっているが、景気が良かったころのような気配もない。
		農産物直売所	売上げが、例年と変わらない。
		小売業（食品）	米価も悪く農家の収入も少ないようだ。さつまいも、レンコンなどは良いようだが今月は変わらないと思う。
		小売業	良くなったと感じられないが、悪くなったとも言えない。
		割烹料理店	時期的な事で、忙しいようだが、予約以外のお客様は来ないということに変わりはない。
		観光型ホテル	宿泊予約の状態をみても、3か月前と変わらないと思う。
		タクシー運転手	前回の調査時と何も変わらず、仕事柄、乗車中の客同士の会話からも決して良い話はしていない。
		タクシー運転手	タクシー業界は今60歳以上で支えている状態である。10年後が心配である。タクシーの収入で一家は養っていけない。そのくらいここ10数年仕事が少ない。財布の紐は固い。
		ドライブイン	お客様の動向に大きな変化がない。
		ゴルフ場	予約状況より判断。
		理・美容店	特に変わりなく普通に生活できている。お客様の声も特に変わらない。
		理・美容店	来店サイクルはまだ3か月に一度の割合が多いが、支出単価は上がっているのので来店サイクルが改善されれば良い方向に向かってゆくと思われる。
住宅販売会社	特に変化がない。		

変 わ ら な い	企業	製造業（食料品）	良いも悪いも変わる要因がない。
		製造業（食料品）	相変わらず消費者の動向が鈍い。企業の操業率も落ち込み。
		製造業（食料品）	売上額も客数も変わらない。
		製造業（食料品）	原料状況は近海水揚量の増加により好転しているが販売数量が伸張せずに横這い状態が続いている。
		製造業（電気機械器具）	受注は、堅調に推移している。
		製造業（食料品）	3か月前と比較すると年末需要で売上げは増えているが、前年比はあまり変わらない。
		建設業	鹿行地域、着工棟数が少ない。ハウスメーカーとの競合もあり、受注棟数が少ないです。
		運輸業（道路貨物運送業）	仕事量に対して、車輛数が不足して困るという状況ではない。12月にしては動きは良くない。
		金融業	設備投資及び運転資金の資金需要は、依然として慎重であり、各業種での業況等に特段の変化は見受けられない。
		不動産業	従来とあまり変わらないと思います。
		サービス業	自動車、機械製造分野からの受注が減少したまま復調していない。一方、老朽化に伴う設備や構造物の腐食、破壊については、引き合いはわずかながら増加している傾向。
		火力発電所	業績に変化がない。
		雇 用	人材派遣業
民間職業紹介業	前回の回答と同様ですが、求人企業は増加傾向にあるものの、求職者（登録者）が少なくマッチングが図れずに困っている。		
公共職業安定所	新規求人数及び有効求人数は前年比増加し、新規求職者数及び有効求職者数は前年比減少しており、有効求人倍率は上昇しているが、求職者数の減少によるところが大きい。		
求人開拓員	9月末に就職面接会を開催したが、参加事業所20社に対し、参加求職者は12名と少なかった。職を探している人が少なくなっているように思える。だからと言って、景気がよくなっているとも思えない。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	コンビニエンスストア	3か月前と比較して店の売上げと客数が下がっていることから、3か月前と比較して景気がやや悪くなっていると考えられます。
		衣料品販売店	1日1日の客数が少なくなり、客単価が上がっていません。
		和食レストラン	客数は大きな変化はないが、客単価が減少している。これにより売上げは若干ダウン傾向。お客様の財布の紐が更に固くなっている気がする。
		タクシー会社	忘年会の時期であるにもかかわらず夜間の仕事が例年より少ない。
		レジャー施設	来客数の減少。3か月前だけでなく、前年と比較しても減少傾向である。
		レジャー施設	来場者の利用額等が低下傾向を示している。
		クリーニング店	歳暮の時期で客数は増えてはいるが、9月の長雨で米や野菜の収穫に影響が出ている。生産者は量が出荷できない。消費者は値段が高くて手が出ない。
企 業	農業関係者	最近の野菜、果実等の売上げが昨年と比較すると、減少傾向にあり、平均客単価も減少しているため、消費者は必要なもの以外は買わないように見受けられる。	
	建設業	景気上昇の気配は感じられない。	
	保険業	事務所前の県道の交通量や通行人の減少に伴い、来店者が減っている。	
	内装工事業	物件が非常に少なすぎることで将来が描けない、今後の見通しが付かない。	
悪	家計	小売業（薬品店）	例年の12月に比べ、売上げが非常に悪い。
		日本料理店	忘年会シーズンですが良い話もあまり聞かなく、毎年より静かな忘年会が多い。

(4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スーパー	ポイントカードを10月に導入し客数と客単価は増加してる。
	企業	製造業(非鉄金属)	自動車産業は、生産・販売ともに堅調に推移している。円安傾向が自動車産業にとってはプラスの効果となっている。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	お弁当類も高単価商品の動きが良い(580~650円)。お買上げ単価も前年0.9円増えている。
		農産物直売所	直接は関係ないとは思いますが、この時期れんこんの販売がものすごい。今年是不作で高値ですが地方発送が多いので不景気知らずかなと思います。年末だからかな。
		都市型ホテル	10月や11月と比較すると宴会等の予約において1人あたりの客単価が上がってきている。
		タクシー運転手	駅から企業さんまでタクシーで行く方が増えた。
		タクシー運転手	外食が増えている気がする。
		ゴルフ場	平日にも来場者が多くなってきている。2週間程前の11月に東京で54年ぶりの雪が降ったが、大きな被害にはならなかった。その後天候も落ちつき、ボーナスの時期を迎え活性化しているように見受けられる。
	企業	工場見学案内	本年7-9月の見学者総来場数が前年同期比100%に対し、観光会社経由の予約による見学者は90%。一方、直近10-11月の状況は総来場者前年比101%に対し、観光会社経由は99%と有料ツアー客(工場見学自体は無料)の来場に回復の兆しが見られる。また、7-9月の土産売場売上げが前年同期比94%に対し、10-11月は107%と来場者数同様(あるいはそれ以上に)回復が顕著であり、総じて3か月前に比べ景況は改善の方向が若干ではあるが見受けられる。
		運輸業(倉庫業)	輸送に関しては相変わらず低調傾向。保管貨物等の動きは活発になってきている。
	雇用	求人開拓員	今年1月に行った元気いばらき就職面接会では、営業日で12日要した参加求人企業募集が、今回(来年1月27日開催)は5日で集まった(20社)。
	変わらない	家計	スーパー
スーパー			売上げは回復傾向にあるが野菜の相場高に助けられたことが要因。
スーパー			これは守谷地区だからなのか、悪くなっている感じがしません。良いわけでもないのですが、数字的にはプラスで推移しています。
コンビニエンスストア			特に、お客様の買い物を見ていても変化はない。
専門スーパー			特需を除くと客数・客単価にあまり変化がないからです。
和食食堂			特別変わった様子はない。
日本料理店			忘年会用の料理とうなぎコースを入れたので、そこそこあたったのか昨年と変わらなく(客単価は少し下がったが)やれてます。
寿司店			普段の仕事はほとんど変化がありません。ただ季節的な要因で今年も終わりの12月、忘年会の予約と新年会の予約が入ってきて気ぜわしくなります。
都市型ホテル			実績より、レストラン利用が減少(個人消費)が見られたが、法人の利用が多かったことで、相殺して、景気も変わらないと判断した。宿泊利用は大きく変わることもなかった。
旅行代理店			旅行者数は大きく減少しているということはないが、旅行費用に関してはやや減少しているように思えます。
タクシー運転手			近くの宴会場に訪ねたら忘年会の予約は例年通りと言われ、変わらないと思う。
タクシー運転手			乗車回数及び売上げが横這い状況。長距離が少ない。会社関係のタクシーチケット使用が増えていない。
タクシー会社			法人関係のチケットの利用の増加が見れない。
サービスエリア			9月は交通量及び売上げ共に前年を下回ったが、これは今年のシルバーウィークが大きく影響していると思われ、10月は逆に持ち直した。11月はそこそこの数字であったが、これも曜日の並びによるものと思われることから、この3か月は景気の動向が影響したとは思われない。商業施設への入館者数は交通量とほぼ同様に推移しており、お客様の購買意欲は相変わらず高い率を示していることから、特段の景気の変化はないと判断した。
ゴルフ場			ゴルフ場の予約に対しての来場者の見込みの変動が少ない。(見込み通りとのこと)好景気の場合も多く、逆の場合は少なくなるなどの変動がある。
ボウリング場			新しい顧客を確保しても、従来のお客様の来場頻度が落ちたり遠ざかったりと思うようには行かない現状です。
レジャー施設			お客様の動向に大きな変化がみられない。
理・美容店	売上げやお客様がお店に来る人数が変わらないので。		

変わらない	企業	農業関係者	12月期（初旬まで）の来客数・客単価を今年度9月期～と比較すると両者ともに減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（食料品）	ここにきて円安等でガソリン価格等も上昇している。お客様の財布の紐が固いようだ。また、野菜が不足気味で値段は依然として高いままです。
		製造業（金属製品）	受注量，受注残，変わっていない。
		製造業（食料品）	客数や売上高の変動がない。
		製造業（飲料）	判断材料がなかった。
		製造業（家具・装備品）	あまり波のある仕事ではないので例年通りです。良くも悪くもないようです。高級品のオーダーが多少増えたような気がします。
		製造業（窯業・土石製品）	一部製品に出荷増はみられるが、全体としては変わらない。
		製造業（一般機械器具）	これといった変化がなかった。
		建設業	年末なので工事量が多くなるのは毎年のことだが、昨年ほどの増加はなく、年末増加分を差し引くと、3か月前と比較して今月の景気は変わっていないと思う。
		金融業	各業種に於いて、需要に関する業況等に特段の変化はないように見受けられる。新規事業所等の開業や近隣地域での企業進出に特に変化なく目立った動向はない。不動産の売買事例はあるものの、活況を呈するまでには至っておらず、物件の動きは鈍い。景気自体は、3か月前とほとんど変化はないように思われる。
		不動産業	TX沿線の一部を除き停滞している感じがする。
雇用	人材派遣業	特定の業種については良くなっているが全体的に見ると、あまり変わらない。	
	求人広告	特に変わっていない。	
	公共職業安定所	有効求人倍率が0.75倍前後で推移している状況が、3か月以上継続している。	
	学校就職関係者	特に目立って変化はなかった。	
やや悪くなっている	家計	小売業（食品・酒類）	客の高齢化。客の減少。
		小売業（米穀）	3か月前に予想したとおりにになりました。28年度米が全国的に値上がり（仕入れ価格）し、その分の値上げ（販売価格）を承認していただけない状況です。縁故米は、かなり出回ると予想しましたが、こちらは想像以上に出回っているようです。茨城は新米の出来が早く、美味しいので、贈答用にも使われていたのですが、ほとんどなくなりました。同業者の廃業も2店ありました。
		和食食堂	天候のせいもありますが、入店数が減っている。
		洋食食堂	団体様の予約件数が少ない。個人様の予約件数が少ない。
		理・美容店	いろいろな問題があるのですが、うちのお店の場合、子供が減っているということは悪くなっているということなのでしょうね。安いお店やセルフカットに流れているんでしょうね。
		住宅設計販売	不動産業をしておりますが、土地・住宅の価格が下落している。
		住宅販売会社	単純な価格競争で競合に負けることが多く、「値段」ありきの傾向が強まってきた。
企業	製造業（窯業・土石製品）	東北地方の震災復興関連事業には、一時の勢いがなくなり、活気がなくなってきているように感じられる。関東地区他では、前年割れが続いている。	
	建設業	夏の受注が少ないのは例年通りだが、10月・11月も予想より少なかった。	
悪くなっている	家計	家電販売店	年末商戦中だが、昨年のような伸びがない。
	企業	製造業（印刷業）	来客数の減少及び客単価の減少。
		建設業	引合い、受注が落ち込んでいます。取引先の動きが、様子がかめない。通常12月、年末ともなればある程度注文もあると思うが、引合いがありません。来春の景気が心配です。予想がつかない。

(5) 県西地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	和食食堂	最近、特に初めて御来店いただくお客様が増えています。お出しした料理をスマートフォンで撮影しているお客様が多いので、SNS等に取り上げていただいているのかと想像しているのですが、私自身はスマートフォンを持っていないので確認出来ないのですが。
	企業	製造業（一般機械器具）	3か月前と比較して受注量が多くなっている。
やや良くなっている	家計	専門スーパー	客数、客単価とも3か月前の前年比よりも今月の前年比が大幅に伸びている。
		和食レストラン	お店をリニューアルオープンしたため、今月の前年比と3か月前の前年比を比べると伸び率が良くなっている。予約数なども増加した。
		タクシー運転手	近くに大型店がオープンして人の出入も多いように思われる。
		ゴルフ場	年の暮れということもあるが、年度内の圏央道開通というインフラ整備もあり、交通量がある印象。お客様自身の購買意欲も3か月前に比べある印象。
	企業	農業関係者	野菜の値段の高騰により、JAの貯金残高も多少増えてきている。このようなことから農業面でいえば、やや良くなっていると思える。
		製造業（印刷・同関連業）	地元で大きな選挙があり、その特需と業種的に季節商品も含め受注が増える時期なので、忙しい日々が続いている。しかし、一般的には政府の方針は大企業中心の考えで、（賞与の平均支給が、新聞・テレビ等で発表されるとイヤになる。就業時間の短縮など、零細企業では考えられない。等々～。）最近では政治不信に陥りそう。
		製造業（電気機械器具）	受注量増による増員要請が増えており、事業所全体でも人員に不足感が出ている。
		建設業	県や市の工事が始まって、受注がある。
		不動産業	賃貸に入居したお客様が売買物件を探している。
	雇用	求人開拓員	面接会を実施したところ、出席したい企業は増えているが、来場者（求職者）の数は年々減っているため、職に就いている人が増えてきた印象。
変わらない	家計	コンビニエンスストア	担当地区の売上げ前年比が横這いで環境に変化のあった店舗（競合の出店や道路の変化）以外でも良いという状況ではありませんでした。逆に、理由もなく、前年割れをしている店も少ないため「変わらない」という判断となります。
		自動車販売店	新型車が発表になってもあまり変化なし。
		農産物直売所	世界情勢は気になるところも多い昨今で影響はあるかと思いますが、青果物などの販売状況においてはそう変わらずに景気は推移していると感じています。
		和食食堂	忘年会の時期なので多少は予約があるが、前年比を比べると客数や単価が落ちているのであまり変わらない。
		旅行会社	旅行全体が悪いので、良くもならず、更に悪くなったわけでもない。
		タクシー運転手	当市の変化の移行中。
		ドライブイン	客単価・客数実績を見てもこの半年横ばい状態が続いている。
		ドライブイン	来客数・客単価とも大きく変化はなく、購買意欲も低調で改善されていない。
		ゴルフ場	予約の状況より。
		レジャー施設	人の出入りや消費動向をみてもほとんど変わりはないと思う。イベントが多い月なので多少の売上げアップはあると思うが一時的な売上げのためそれ程変化はないと思う。
住宅販売会社	前回良くなってきた集客数が、また伸びなくなってきた。		

変わらない	企業	農業関係者	特に変化がほとんどない。12月はボーナス月ではあるものの、企業が不景気ということもあり、預金増加の期待は薄い。
		製造業（食料品）	売上げ自体、平均するとここ数か月ほぼ変わらずにきている。売上げを伸ばしたくても、人手不足で思うように受注するのは難しい。
		製造業（印刷・同関連業）	若干の季節的要因はあるが、それを除けば変わらない。
		製造業（金属製品）	得意先により繁忙度は一様ではなく、しかも一時的なものと考えられる。
		金融業	取引企業とのヒアリングでは、毎月の売上げは昨年並みで推移している企業が多く、個人事業主においても同様の傾向がみられる。一部の飲食業や小売業に関しては、消費の冷え込みから売上げ減少しているところも見られる。
雇用	人材派遣業	会社からの求人がないから、プラスもマイナスもない。	
	公共職業安定所	例年、求人の少なくなる時期である。	
	学校就職関係者	3か月前と比較して、求人企業数が増えない。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	必要な物しか購買意欲がないことがますます顕著である。
		商店街代表者	トランプ影響でしょうか、財布の紐が固くなってきました。
		スーパー	当社加盟企業1,741店舗の12月推移…売上高前年比99.5%、来店客数前年比98.2%、客単価前年比101.3%（2,068円）、1品単価前年比99.7%（200円）、買上点数前年比101.6%（10個）
		スーパー	マーケット内の低価格競争が激しくなり、客単価減、数量増、客数横這いの状況が3か月くらい前から続いている。
		家電販売店	お客様からの声。購入までの下見の回数が多くなっている。
		日本料理店	消費者の節約志向が顕著である。
		都市型ホテル	忘年会シーズンですが、予約状況を見ると単価等にあまり変化は見られないが、来館数が減少しています。（1つ1つの宴会の人数が減少している）インフルエンザ等も流行っており、急な欠席者も多いです。
		旅行代理店	野菜が高値です。皆さんが生活苦からでしょう。旅行参加者が減少しています。年金が少なく旅行までお金がまわらないと言っています。
		タクシー会社	タクシー利用者が激減し、収入も前年対比で大幅減収、景気も悪くなっている。特に深夜時間帯のお客様が減少。
		タクシー運転手	相変わらずタクシー利用のお客様が少ない。更に深夜の利用客も益々少なくなっている。
		理・美容店	明らかに来店サイクルが伸びている。
		商店街代表者	通りを歩いている人が少なくなっている。
企業	製造業（印刷・同関連業）	業者と顔を合わせるたびに、「景気どうなっているんだろう、全然ダメ」とかが常套句になっています。印刷用紙の需要は、減り続けており、回復の兆しはまったく見えてきません。	
	製造業（化学工業）	自動車、電子製品市場とも大きな回復情報がない上に、例年季節要因で12月～2月に受注が落ち込む。	
	製造業（窯業・土石製品）	受注が減っている。	
	製造業（窯業・土石製品）	今年は今までで過去最悪だと言う同業者の声が多く聞こえます。当社だけではなく、他社も同じ状況なのだと思う変な安心感が心に生まれて、複雑な気分です。	
家計	衣料品販売店	年末は学校行事も少なく、大型店、量販店等の年末セール等に消費者の注意が向けられ、来店数が減少している。	
	製茶販売	財布の紐が固くなっていて、買い渋り傾向に思われる。	
	飲食業	来客数が減っています。	
	クリーニング店	ボーナスやクリスマスなどの話は出てきません。お金を出すことに対して、渋く考えているのでは。	
企業	製造業（食料品）	受注数が減っている。	
雇用	求人広告	クライアント数が多い飲食店が特に景気が悪くなっていると感じている。人気店にも集客がなく、ここ数年で一番悪いと仰るお店が多い。「景気が良い」と仰る取引企業は皆無となっている。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	小売業（時計）	日本人はメディアの情報に左右されやすいので、トランプ効果が出てきそうである。
		ゴルフ場	12月1日時点の予約状況（1～3月）を比較してみると、前年29ポイントが今年は37ポイントを記録し、+6ポイント良くなっている。
		住宅販売会社	円安に向かいつつある。この状況が進めば、製造業の多いこの地域は良くなるかもしれない。
	企業	製造業（電気機械器具）	現在よりは受注金額が減少する見込みですが、それは前年も同じであり、前年と比較すると受注金額が大きいことから、景気はやや良くなっていると判断しました。
		製造業（精密機器）	業界によって違いが出ていて、車関係は19年～20年にならないと良くならないと思います。半導体は今後3年くらいは良いと思います。
		運輸業	見積り問合せが増えてきた。
		運輸附带サービス業	海外向けの需要が増えている。
変わらない	家計	商店街代表者	今年は例年より客からの問合せが少ない。
		スーパー	毎日が変わらず平均して売れている。
		スーパー	商品の品質レベルが低い状態は当分続くと考えている。現状と変わらないため、変化なし。悪くなることもあるが良くはならない。
		コンビニエンスストア	企業の景況などや、従業員さんの販売行動なども特に変化は見られない。
		衣料品販売店	増える要素が見当たらない。
		自動車販売店	年明け新卒者の需要が増えますが毎年同じことなので。
		小売業（燃料）	変化する要因は見当たらない。
		小売業（酒類）	改善されないままの状況が続くように感じる。
		レストラン	皆さんがよく話している会話から、「早く良くなってくれるといいね」とは話していません。
		スナック	景気が不安定なので、消費を控える人が多いと思う。
		中国料理店	まだまだ景気の良い所、悪い所の差があるので、全体的には変わらないのかなあと 생각합니다。
		食堂	正月で出費が多くなり、2月で切りつめ、3月は子どもの進学がありと、若い方々はコーヒーを飲みながら話してます。
		タクシー運転手	残業規制などが厳しくなるとの情報もあり、現状維持が精一杯と思われる。
		レジャー施設	プラス要因及びマイナス要因が見当たらない。
		ゴルフ場	先の予約等でも基調は変わらない。
		ボウリング場	年度末で、一定数のお客様が来店されるものとみられるが、全体としての稼働数に大きな増加が見込めない。賃上げの動きが一部であるものの、店舗への影響は、ほとんどないと思われる。景気予測としては、現状と変わらない。
		写真店	キャンペーンなどが昨年同様。新商品も発売するが景気は変わらない。

変わらない	企業	製造業（食料品）	季節要因を除けば、通常の生産、販売状況に変動はない。
		製造業（食料品）	11月から売上げが良いのは、9月の天気が悪く野菜などが高めだから豆腐などの製品が売れているのではない。
		製造業（電気機械器具）	今年度は現状に変わりなく推移する予定。
		製造業（輸送用機械器具）	17年1月の大統領就任時期に為替がどのように変化するかによって今後の輸出産業の収益が左右されるので良くWATCHしていきたいが、大きな変化は見られないと想定する。また、国内の自動車販売に大きな変化は起こらないと想定される。
		金融業	㈱日立製作所と共に共存共栄を図り発展してきた構造背景から、急激な変化は見込めず、今後の見通しも不透明な状況から判断する。
		不動産業	好材料がなく、好転する要因が見当たらない。
		情報通信業（情報サービス業）	農産物の高騰、ガソリン価格が上がる等、あまり良い話は聞かないが、暫くは今の状況が続くと思います。
雇用	求人広告	大きくは変わらないと思うが先行きに不安を感じている方はやや多い。	
	公共職業安定所	求人数が増加傾向を示していることから、やや良くなっているところであるが、TPPや中国経済の影響など不安要素も多いため、変わらないとした。	
	学校就業関係者	特に変わりはないと思う。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	コンビニ業は1月、2月、3月は売上高減少時期になるため、更に買い渋りになる。
		小売業（弁当・惣菜店）	例年1月から2月にかけては少し売上げが落ちる時期でもあり、また景気観の向上が見られない。
		観光型ホテル	前年同期と比較し、宿泊・日帰り予約ともに低調傾向である。よって、景気はやや悪くなると予想している。
		旅行代理店	団体の受注は、前年とほぼ同じ状況であるが、個人のツアー参加が減少している。
		タクシー運転手	みんなお金を使わなくなる。
		タクシー運転手	今後3か月とは今月の12月と来年の1月・2月となります。例年1月・2月は仕事が暇な月で売上げが期待できない月なため、どうしても12月に比重がかかります。マスコミ等ではボーナスアップの話もあり、この需要期に力が入りますが、このレポートを書いている12月中旬の感触ではまだ出足が遅いし、クリスマスの日も土・日で企業が休みで売上げが見込めない。ということで12月の売上げは余り期待できないと思いますので、全体の3か月では「やや悪くなっている」としました。
		ゴルフ場	平日の来場の年配者が増えて土日の中間層（40～50歳）の方々が減少した。
悪くなっている	家計	製造業（電気機械器具）	目先の作業量は大変多い。先の見通しは不明である。
		製造業（化学工業）	円安が進行しているため数か月後に影響が出ると思われる。
		製造業（一般機械器具）	出荷のピークが2か月後になり、3か月後では比較的物量が減少する見込み。
		建設業	お客様や取引先等の様子から先行きは明るくないのと、当社の現況からすると景気は悪くなっていると感じる。
悪くなっている	企業	商店街代表者	地元大手企業が、下請け企業に対し、大幅なコスト低減要求をしたと聞いている。
		林業関係者	製材業者の廃業の通知が来ている。
		製造業（電気機械器具）	受注案件が直近（2年）確定していない。
悪くなっている	雇用	求人開拓員	年金改正、扶養控除金額、TPP等どれを見ても国民への負担の方が増える案件が多く、不安材料が多くなっているため、そのような判断になりました。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	パートさんの103万の壁もなくなる点から労働者の増加、給与(取得)の増加により、景気は良くなっていくと考えます。
		タクシー会社	FRBの利上げで円安傾向が進むので、短期的には景気が刺激されると考える。
		タクシー会社	県外よりの顧客の流れが大きく変動しないと思いますので、初春にさまざまな集客イベント等もあり上昇傾向になると判断します。県内のお客様の利用状況により、やや良くなっているから良くなっているに變動することを期待したいと思っています。
		ドライブイン	梅まつり期間中となりますので来園されるお客様も多いと思います。期待をしています。
		ゴルフ場	2月までを乗り切れば、来場者の増加も見込めるのでやや良くなると考えています。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	期待値として。
		サービス業(コンサルタント業)	年度末なので。
	雇用	人材派遣業	今後も人材を増やす予定の企業様が多い。
		求人広告	採用枠が増えている。最低賃金の上昇。
		公共職業安定所	求人数の増加が良好と思われる。
	変わらない	家計	商店街代表者
商店街代表者			悪いまま変わらないと思う。
百貨店			今月が歳暮・クリスマス・年末商戦で来店客数、売上げともに伸ばしている傾向は、3月に卒業式や入学式の準備用品、春物ファッションの需要が伸び、来店客数が増えることと、さほど変わらない。
百貨店			現状と今までのお客様の購買の様子を見ているとずっと変化がなく、慎重な品定めをしている。今後、景気が急に良くなる限り、変化は乏しいと思います。
スーパー			今後も変化がないと予想される。
スーパー			景気が良くなるような材料に乏しいが、株価が持ち直しており長期的には期待している。
コンビニエンスストア			コンビニであっても、セール品の売上構成比は高まっており、客単価アップが見込めず、現状維持になると思われる。
小売業			商品のマンネリ化などによる来場者の客単価の低下が、売上げ減の主な原因と考えられるので、そのような商品開発が行われない限り、売上げ増は期待できない。
自動車販売店			ここ数か月来の数字があまり変わらない。
レストラン			周りの方も変わらないと言っているスタッフが多い。
レストラン			今のところ良くなる要素は見当たらない。忘年会・新年会等の予約の単価が若干下がっている。
レストラン			良くなる要因がない。
都市型ホテル			この先の予約状況も現在あまり良くなく、今後大きく伸びそうな感じもしない。
観光型ホテル			特に変わった傾向はみられず、例年通りの需要と思われる。
旅行会社			料金が値上がりするとお客様は増えないですね。ツアーに参加するお客様が減っている。
観光名所			3か月先だと年度が変わる時期で、ご贈答品シーズンで、今月より売上げが高くなるが例年のことであり、逆に利益率の低い日用品・食料品が売上げの中心となってきているので景気が良くなっているとは考えにくいと思います。
レジャー施設			閑散期対策に重点を置きすすめているが、天気的不安定さが重く感じられ明るい話題も少ない。ボーナス時期でもあり多少良いともあるが、今後の3か月となると「変わらない」とした。
スーパー銭湯			今冬の天候次第と思っております。寒ければ寒いほど暖かい風呂に人々は集まります。一日も早く寒い冬が来ることを祈りたいですが、この1~2年と同様の天候になると思われますのでやや悪くなったまま変わらないと思われれます。いろいろとイベントを考えますが厳しい寒さ、暑さになることが一番です。
レジャー施設			特に変化は感じられません。
建築設計事務所			設備投資が低迷する状況が続く、新築案件も減少し、既存建物の用途変更や増築、改修案件にシフトしている。既存建物への増築や改修は業務の難度が高くなる割には低予算となり苦しい状況が続くそうである。
住宅販売会社	現在の円安・株高傾向も、1月のアメリカ大統領就任以降、どのような動きを見せるか、未知数。		

変わらない	企業	製造業(食料品)	年越重要はやや例年を下回る予定、その他目立った動向はなし。
		製造業(食料品)	良くなる要素がない。
		製造業(印刷・同関連業)	好転する要素が見当たらない。
		製造業(金属製品)	案件の情報や見積り件数から考えると、しばらくは多くもなく少なくもなく、ある程度の仕事量は確保できそうです。
		製造業(一般機械器具)	1月ごろからの注文が入ってきたので戻ればよし。
		製造業(精密機械器具)	3か月先は年度期末決算の企業が多く、当月受注、当月出荷を期待したいところだが、完成品在庫を削減しており、その期待に応えられるかどうかの心配もある。
		建設業	希望的観測ですが変わらないでほしい。
		運輸業(道路貨物運送業)	運送貨物の増加は望めそうにない。
		金融業	今後3か月先の売上高の見通しも全体的に横這いとの話であり、景気は現状と変化なく推移すると思われる。
		不動産業	低予算重視の方が増えており、空室が増え、オーナー様も資金繰りが厳しい方が増えている。
		情報通信業(情報サービス業)	年度末にかけての商談成約に期待するが、例年に比し商談数が少なく、市場の広がりを感じる事が出来ない。良いと言われる首都圏景気からの波及効果も薄く、地場市場における好転要素も何れも、先行き景気は横這いとする。
雇用	学校就業関係者	求人情報の中の大学生給与単価が安定している。	
	求人開拓員	派遣会社などからの求人票を見ると製造会社への派遣が多い。製造業は、先行きの景気を見越しての雇用か。従業員は不安定な雇用関係ではあるが現状では変わらないでしょう。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	再度の為替(円安)により、今後はまた価格が上昇してくるかもしれない。安売りが出来なくなり、節約志向が強くなる。
		スーパー	鳥インフルエンザの流行でいろいろと制限されているので明るい見通しがたたない。また、介護保険料の負担増等もあり、年配者には節約ムードが高まっているようだ。
		スーパー	買上点数、来店頻度が減少している。OPECでの合意により、原油価格が上がりそう。
		農産物直売所	土・日・祝日の来場者数に対して土・日・祝日の高額・こだわり商品の売れる点数が伸び悩んでいる。
		タクシー運転手	このところのお客様の減少により、赤字が続いている。3か月先もこの傾向は続くと思われるので景気はやや悪くなると思う。
		ゲームセンター	1月から3月の売上げの大半は1月前半にあり、原状回復が見込めるツールが見当たらない状態です。
企業	農業関係者	農閑期となり冬場であるために出荷する作物がほとんどなく収入がない。	
	サービス業(広告業)	ここ3年くらい、年度末の広告予算は削られる傾向。	
悪くなっている	家計	楽器販売	現状を鑑み、それ程の急上昇感には期待できない。
		割烹料理店	飲食業で12月よりも良くなる月はないと思うので悪くなるのは仕方のないことです。
		旅行代理店	海外ツアーの燃油サーチャージが復活する恐れあり。(原油高により)旅行代金に上乗せとなると手控える旅行者も多くなるのでは。アメリカ方面については、トランプ次期大統領の動向次第だと思います。
		ペット美容室	2月3月は毎年落ち込みます。
企業	製造業(窯業・土石製品)	見積りの依頼も減っている。	

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	-	-	-
やや良くなっている	家計	商店街代表者	鹿嶋アントラーズのJリーグ制覇に伴い、今後の記念イベント等による経済効果に期待する。
		小売業	消費税増税も延期された事、円安、株高が続きそうだ。
		洋食食堂	ランチタイムを中心に客数が伸びている。お客様は自分の望むもの（必要なもの）には、お金を使うと思います。
	企業	製造業（食料品）	希望的観測。
		製造業（食料品）	大方の予想とは逆にUSA大統領がトランプ氏になって為替が円安に振れたことから、多少良い方向になるのではないかと。
		製造業（電気機械器具）	年明以降の増産の見込みがある。また、新規受注の引き合いもあり期待している。
		建設業	リフォーム部門が伸びると思います。住宅ストック循環支援事業の国の補助金の制度があります。皆さんが理解をしてくれれば、リフォーム部門が伸びると思います。
変わらない	家計	スーパー	売上げ横這い。
		スーパー	消費者の買い物動向は特別いい状況には感じられない。
		コンビニエンスストア	商品単価が上がっていることが下支えになっているが、良くなる要素があまり多くはない。
		衣料品販売店	現在すら分からないので先のことは見当が付きません。
		農産物直売所	少し悪くなっているかもしれないが、良くなっているとは思えない。とにかく財布の紐が固いという一言。余計なものは決して買わないという決意を感じる。
		農産物直売所	売上げが、例年と変わらない。
		小売業（菓子類）	特に景気が良くなるとは思えないが、今月は昨年同月より（売上げは）良くなったので、3月も悪くはならないと思う。
		小売業（食品）	お歳暮のお客さんは例年同じお客の顔ぶれで新客は少ない。3か月先も変わらないと思う。
		和食レストラン	「低値安定」となると考える。景気は現状水準でしばらく続くと考え。
		割烹料理店	コンビナート内の企業で、事故があり、飲食の自粛などが予想される。
		日本料理店	特に良くなる話を聞かない。
		観光型ホテル	今の現状をみても変わらないと思う。
		タクシー運転手	年末で季節的動きはあるのかなと思うけど、昨年も忘年会等いつの間にか知らずに年が変わっていた。年が変われば今と同じか、それ以上厳しくなるかも。
		タクシー運転手	ここ10数年仕事が少ない。
		ドライブイン	季節の農産物は順調に販売できているが、一方でお土産商品などは売行きが鈍い。
		理・美容店	良くなるようなニュースもTVでやっていない。少しでも景気が良くなっていると、ニュース等でやってくれると良いのだが。
		理・美容店	外食や服飾といった方面の支出が増えだし、全体的に支出金額の増加が伺える。
		クリーニング店	気候も落ちついてきたので、野菜の値段も少しずつ安くなっている。
		住宅販売会社	4月～5月を過ぎるまでは、顕著な動きはないものと思われる。
		住宅販売会社	変化の要因がない。

変わらない	企業	農業関係者	中小企業等は、まだまだ実質賃金が増えていない状況の中で、今後の消費者の購買意欲が増すことは、もう少し時間がかかると思われる。
		製造業（食料品）	分からない。
		製造業（食料品）	客単価も変わらないし、新規客もそう増えていない。
		運輸業（道路貨物運送業）	現状の動きを考えると、いきなり景気が回復することは考えられない。
		金融業	取引先である中小零細企業においては、業況が好転している企業はあまり見受けられず、今後3か月の景気動向については変わらないと思われる。
		保険業	アメリカ、トランプで株価が上がってきているので少し明るい人がいるが、全体を見ると変わらない。
		不動産業	今後3か月先においても変化は感じられないと思います。
		サービス業	自動車分野の開発軸が燃費性能から自動運転技術に移行しており、自動車メーカーの開発が一段落するまでは継続的な受注が見込めない。一方、品質トラブルの原因調査や設備や構造体のトラブルについては、徐々に増加していくものと推測している。
		火力発電所	変化を感じえる事柄がない。
雇用	人材派遣業	年末を迎えてどのように景気動向が好転していくのかは読めない状況にある。しかしながら、例年以上にボーナスが引き上がるとの報道もあり期待している。それがひいては素材産業に連動することを期待している。	
	民間職業紹介業	弊社近隣においては求職者（登録者）が増える傾向にはないので、状況は変わらないと考える。	
	公共職業安定所	特定の職種（医療、福祉、建設分野等）での人手不足の状況に変化はなく、他の職種についても、人手が集まらないとの相談が増えている。また、今後も求職者の減少による人手不足の状況が続くものと思われる。	
	学校就職関係者	特に変化を伴うような要因がない。	
	求人開拓員	確かに、都会の大企業の景気は良くなっているところもあるようですが、地方の景気が良くなっている様子はない。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	このところ野菜の高騰や原材料費の高騰などで販売価格の変動がみられる等により、利益率は減少傾向にいくと思われるため、3か月先も景気がやや悪いのは変わらないと思う。
		家電販売店	新生活月により、各家庭の出費は増加し、企業における収支も比例して増加するが、最近の購入単価ダウンから推察しても景気が良くなるとは考えにくい。
		タクシー会社	TPP交渉が暗礁にのり上げ、企業の設備投資が減少すると思う。
		ゴルフ場	気温が下がるにつれてシニア層の動きが悪くなる。
		レジャー施設	普段の仕事からの判断になると、ここ数年良くなった実感をしたことがない。
		レジャー施設	景気の回復すると思える条件が見当たらない。
	企業	建設業	受注案件が少ないような気がします。景気の上昇は感じられません。
	内装工事業	正月早々よほどのことがない限り上向くことは皆無に等しい、辛抱の年になりそうだ。	
悪	家計	小売業（薬品店）	若い人たちの、生活を見て3か月先の購買力が上がるとは思えない。
	企業	製造業（食料品）	現在の野菜の高騰の影響が3か月先も続くと思われるので、景気はやや悪くなると思う。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	スーパー	ポイントカードを10月に導入して客数も増加していますので、今後も売上げは下がることはないと思う。	
やや良くなっている	家計	スーパー	外国人（労働者）客が増えているので、やや良くなっていると思う。	
		農産物直売所	年が明けたらどうなるか分かりませんが、この調子でいってもらえればと思います。	
		専門スーパー	高額商品の動向が少し見られるようになったからです。	
		和食食堂	客単価アップや社内キャンペーン商品の売行きが良い。これが続けばと期待も込めて。	
		都市型ホテル	今後の宴会予約において、やはり多少1人あたりの客単価が上がっている。	
		タクシー運転手	今後も出張費・交通費が増え、たくさんご利用いただけるように思う。	
	企業	製造業（飲料）	季節的なことになるが、人の動く時期なので良くなっていると思う。	
		建設業	最近、民間からの見積り依頼が多くなってきている。今までは小さい会社なので官公庁の仕事がメインで、民間はほんの少ししかやらなかった。これからは民間からの注文も増えてくると思うので、3か月先の景気は今年よりやや良くなっていると思う。	
		建設業	現状では忙しさが戻ってきた。職人の確保が難しい状況だが、受注は伸びてきている。	
		運輸業（倉庫業）	食品関係は製造も変わらず保管も好調、動きが早い。他の貨物も例年より少し活発になってきている。	
	雇用	求人開拓員	今年1月に行った元気いばらき就職面接会では、求職者来場者が56名だったが、10月26日（つくば）の面接会では46名と減った。	
	変わらない	家計	スーパー	特に大きな要因はないと思うが、ガソリン価格値上げによる、買い控えがあるかもしれない。
			スーパー	景気は変わらないと思います。ただ自店的には、総合大型スーパーの閉店が2月にあったのでその影響はあると思っています。
コンビニエンスストア			落ち込む要素は見当たらない。	
コンビニエンスストア			特に、大きな問題などないものと思われる。	
小売業（米穀）			安価米の値上がり、品薄状態が続いており、単価の低い商品の納品に頭を悩ませています。春以降の状況も、全く読めない状況です。こんな年は今までにないです。	
寿司店			毎日がほとんど常連さんのお客様で、宴会を除くとほとんど変わらないと思います。ただ売上げはグングンと伸びますよ。	
都市型ホテル			オンハンド（先の予約状況）から判断して、宴会場受注状況は、歓送迎会が3月からですが、昨年同様であり、また、宿泊も同様推移であり、景気はあまり変わらないと思われる。	
旅行代理店			年末、年始の出費があるのでその後はできるだけ消費を抑えるということになると思います。	
タクシー運転手			駅から乗車されるお客様が頭打ちで、これからも伸びる見込みがない。	
タクシー運転手			何も変化が見れない。	
タクシー運転手			他の企業の業績の向上が見られない。飲食店街の夜間の活気がない。	
タクシー会社			活気が、ひとつも感じない。	
サービスエリア			個人消費の傾向にそれほど変化はなく、今後3か月間において特に社会的影響のある事象も見当たらないことから、特に変化はないと判断した。	
ゴルフ場			上場企業の顧客（会員）などは、米国大統領の施策の様子見となっているようだ。したがって、現状追認で推移すると思われる。	
ゴルフ場			来年1月からアメリカトランプ政権として動き出すため、景気については予想しづらい。ただ現在の景気と急に変わることはないと思っている。	
工場見学案内	12月11日時点で総来場者数は前年同环比増加、観光会社経由も総来場者以上の増加率、売上げも増加。また、12月末までの来場予約も既に前年実績を超えるなどと景況回復傾向が継続しているように見えるが、例えば、10-11月観光会社経由の見学者は99%と記したものの10月が102%に対し、11月は81%とバラツキの中の平均であり、一概に今後3か月先も景況回復が続くと断じづらい状況でもあり、ひとまずは「変わらない」とした。			

変 わ ら な い	家計	ボウリング場	現状を変えられないであろうし、変わらないと思う。	
		レジャー施設	お客様の動向に大きな変化がみられない。年明け以降の動きについては見通せるような材料が見当たらない。	
		住宅設計販売	良くなる材料がない。	
		住宅販売会社	競争が激化している。ただ、景気状況は変わらないと思われる。	
	企業	農業関係者	JAの生産・生活資材関係がまったく伸び率が悪く、利用したとしても安価で少量の利用でとどまる。	
		製造業（食料品）	円安・原油高がどのようになるか心配です。それによって小規模の製造業はかなり影響されるようだ。	
		製造業（金属製品）	毎月の受注点数が決まっているので多少の変化はあっても変わらないと思います。	
		製造業（食料品）	先行き不透明ですが、景気は変わらないと思います。	
		製造業（家具・装備品）	新しい年は良くなるような気がするのですが、投資したいような景気になれば嬉しいです。	
		製造業（窯業・土石製品）	特筆すべき点はない。	
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当たらない。	
		金融業	土木工事・建設業者等一部の業界については、公共工事の需要等もあるが全体的に変化はないように見受けられる。また、経済効果等にすぐ結びつくようなプロジェクトもほとんどないため、引続き現状程度にて推移していくものと思われる。	
	雇用	人材派遣業	自動車やIoT関連の受注は増えているが、その他業種は、向こう3か月も、特別な動きは見られない。	
求人広告		先々の採用予定など、明るい見通しを聞かない。		
公共職業安定所		新規求人数及び有効求人数も減少傾向にあるが、新規求職者数及び有効求職者数も減少傾向にあることから、今後も同様な傾向が継続すると料する。		
学校就職関係者		特に変化する要因がない。		
や や 悪 く な っ て い る	家計	小売業（食品・酒類）	客の高齢化。客の減少。	
		日本料理店	何ともいえません。料理のメニューの動きで、現状維持にもっていきたいと思っていますが、当店は、接待、記念日とかの特別な会食で来店している方が多いので、難しいかと。	
		洋食食堂	夜に外出してお食事する方が駅前とは別として少ない。寒い季節、体調を考えて昼はランチしてもディナーはない。外出を控える方が多くなると考えられる。	
		理・美容店	世界の問題、日本の問題、東京の問題、つくば市の問題、とても良くなるとは思えません。	
		理・美容店	周りの国の出来事などを考えると悪くなっているような気がする。	
	企業	農業関係者	今年は米・野菜ともに高値であったため、お客様の買控え傾向が一層強まった。この傾向はしばらく続く見込み。	
		製造業（窯業・土石製品）	補正予算が出されても、すぐには工事契約に結びつかず景気に与えるインパクトは感じられない。	
		不動産業	今後石油価格の上昇等が予想され、全体的には景気は悪くなるのではないかと。景気が良くなる要素が見当たらない。	
	悪 く な っ て い る	家計	家電販売店	今の状況では、新生活も期待がもてない。
			製造業（印刷業）	特に景色が良くなる見込みもない。
企業		製造業（非鉄金属）	急激な円安や株高の反動が来るのではと予想します。	
		建設業	当社のみが悪いのかと予想するも、廻りの状況も厳しい。悪いと判断する。既存の取引先は結構大手の企業が多いが、引合いが少ない。設備投資の話も少なくなっている。来年はさらに厳しくなるのではないかと想像されます。	

(5) 県西地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	雇用	人材派遣業	1月からの求人が、増える予定です。新しい会社からの求人が増える予定です。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	年度末の需要upを望む。
		衣料品販売店	新入学、新学期に備えての需要が増えると思込まれる。
		専門スーパー	客数、客単価が伸びてきているので販促やサービス向上に力を入れれば売上高も伸びていくと思う。
		都市型ホテル	市役所の移転や病院の建設等が控えており、少なからず、人は動くものと思われま すので、希望もこめて。
		タクシー運転手	市役所の移転による変化。
		タクシー運転手	会社関係の来客が多いと思う。会社の景気が良い所と悪い会社の差があると思う。
	企業	製造業（化学工業）	例年、季節要因で3月から自動車・電子部品市況が若干良くなる。また、為替も円安 継続期待。
		製造業（窯業・土石製品）	「年明け以降の受注が堅調」との話聞くことがある。
		製造業（窯業・土石製品）	今年があまりにもひどい状況でしたので、期待を込めて良くなりたい。また、少し でも良くならなければ業態もしくは、業種を変える必要性に迫られます。
		建設業	建築工事や土木工事等色々な職種で、忙しい様子があります。
		不動産業	戸建物件または戸建用地を探すお客様が増えてきている。
	雇用	公共職業安定所	求人倍率の上昇が見込まれるが、職種によるミスマッチは続く。
		求人開拓員	去年から考えても、今より就職状況が急に悪くなってくることは考えにくい。
	変わらない	家計	商店街代表者
スーパー			少なくとも1月までは今の状況が続くと考える。
コンビニエンスストア			現在、売上げにその兆候はなく、良くなる、悪くなる外部環境の変化はございませ ん。日野自動車の影響につきましては、現在若干のプラスになっている店舗はあり ますが、全体を牽引する程の影響力ではありません。
家電販売店			現状、購入率や購入単価が下がり続けている。
自動車販売店			例年新年度になると動きが良くなってくるがあまり期待できないと思う。
農産物直売所			良い材料は見えてこないので変わらないかと感じています。
製茶販売			今より良くなる理由が見つからないから。12月ボーナス時期でこの渋りよう、どう 考えても今が一番の底とは誰も思っていない。
和食食堂			秋の台風と、その後の天候不順による野菜の高値が一部続いているようですが、そ ろそろ落ち着いてくるのではないかと考えます。
和食食堂			歓送迎会の時期でもあり多少は予約も入ると思うが、このところの原材料の高騰に より利益率は減少傾向にあり、3か月先も変わらないと思われる。
飲食業			「変わらない」としましたが、3か月先は2月ですので年末年始で動いて、2月は4番 のやや悪くなっている、でしょう。
ドライブイン			景気の改善につながるようなお客様の行動は見えにくく、変わらないと判断致しま す。また、アメリカの次期大統領の政策次第で影響がでるかも。
ゴルフ場			予約の状況にて。
商店街代表者			水害を期に流出した人は戻ってこないが新しい人の流れの兆しはあるので期待し たい。
住宅販売会社			「変わらない」、というより「分からない」というのが正直なところ。今の円安が このまま進むのか、それによって輸出産業への影響は大きい。

変 わ ら な い	企業	農業関係者	景気もさほど良くないので、変化はないと思う。
		製造業（食料品）	中小企業は多くの会社で慢性的な人手不足に悩まされていると思う。この先もすぐに改善できるとは思わないので。
		製造業（印刷・同関連業）	予想に反して、クリントンではなく、トランプがアメリカの大統領選に当選した。日本の経済はアメリカ次第なので、トランプ大統領が対日経済政策をどう展開していくのか。1月に就任するが、3か月後にはアメリカが好景気になり、よって、その恩恵を日本も、そして地方の経済にも、意外に好景気をもたらしているのかも一。そうなっていることを、夢んでいます。
		製造業（一般機械器具）	12月現在受注量が多く、3か月先の受注も同じように受けている。
		製造業（電気機械器具）	長期的な受注変動の把握は依然難しい状況にあるが、現在の増員要請状況を考慮すると、今月の状況が継続すると予測する。
		金融業	一部の企業（土木建設業、設備業等）では受注増加が見られるものの、その他多くの業種では業況回復の兆しは見られず、今後も変化しないと慮される。
雇用	学校就職関係者	求人企業が、横這い傾向にあると感じる。	
や や 悪 く な っ て い る	家計	スーパー	当社の年計推移予測データによる。近隣の事業所が中小・個人企業が多い地域で、政府の景気策が反映しにくい地域であること。外国人労働者が多い地域である。
		日本料理店	社会保険等の増額があり、今後も増額が予定され中小零細企業は賃上げも思うようにいかず、一般労働者の可処分所得は減少し財布の紐は益々固くなると予測される。
		和食レストラン	このところ、野菜・原材料費の高騰等により利益率は減少傾向にあり、3か月も続きそうなので悪くなっていると思う。
		旅行会社	原油高により、燃油サーチャージがかかったり、バス運賃も多少上がってくるのが予想される。
		旅行代理店	正月を迎えますが、財布の紐はかなり締まっていますね。年末のお買い物や温泉巡りを計画しても参加者がおりません。年始の初詣と一般参賀にどれだけの人が参加されるか楽しみです。あまり期待できないと思います。一般の方には、ボーナスは関係ないですから。
		タクシー会社	身近でも景気回復には程遠い状況であり、タクシー利用客が増えてくる状況は期待できない。
		タクシー運転手	タクシーを利用するお客様が増えてくる見通しはつかない。タクシー業界の繁忙期でも營收増は、望めない。
		ドライブイン	接客時のお客様との会話の中でも、物価が上がってしまいこの年末はいつも通り準備が出来ないという会話が多くなっている。
		ゴルフ場	11月の降雪もあり、お客様の冬に対する警戒感が高くなっている。
		理・美容店	地域の人口減少は顕著に見られ、給与の上昇も感じられない。先には不安が残る感じである。
企業	農業関係者	現在の高値の反動で春の野菜の売値は下落すると思われる。	
	製造業（印刷・同関連業）	仕事の量が増える受注の新たな展開が、期待できるとかの要因がまったくなく、ジリジリとデフレスパイラルが進んでいっているのではないかと。	
	製造業（印刷・同関連業）	全体的に地方都市では停滞感だけではなく、あきらめムードが若年層に拡大し、その日暮ら似的な行動が多くなっている。一時的なお祭り、イベント計画、実行はするが、それを将来に生かそうという考えが見えない。	
	製造業（金属製品）	年度末に向かい、ここ数年買い控えの傾向があるので期待はできない。	
悪	家計	クリーニング店	ガソリンや灯油などの値上げにより、家計に響くことが多いのでは。
	企業	製造業（食料品）	良くなる要素がない。
	雇用	求人広告	景気が良くなる要素が見当たらない。景気が良さそうな業種や企業が見当たらないために景気回復への兆しが見えない。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	当店では、お客様のクレジットカードの利用率が高まっている。還元ポイントを意識するお客様が増えているような気がする。信販会社や小売業が、消費者困い込みのためのポイント還元の販促を強化しており、インターネットやスマートフォンの普及・発達で、消費者がそういった情報をしっかり収集しているのではないかと。
	スーパー	コンビニが増えた。アパートがどんどん建てられている、増えた。
	スーパー	非食品の動きは良くなっている。衣料は大変厳しいと聞いている。
	衣料品販売店	若いお客様が少なくなっている。
	小売業（弁当・惣菜店）	大きな動きは見られない。景気が良くなった声と相変わらずの声、両方見られる。
	小売業（燃料）	節約傾向が続いている。
	小売業（酒類）	新築のアパートも空室が多い。
	小売業（水産物）	景気と関係あるか分からないが、求人を募っても全く集まらない。
	小売業（時計）	水戸・笠間・ひたちなか等からの修理が、2・3年前から増加している。
	居酒屋	廃業しました。
	スナック	引き続き、エコカー、軽自動車に乗り換える人が多い。
	中国料理店	しばらくは仕事が忙しく、残業が多いと言うお客様が多いので、お給料が上がっている方が多いのかなあと思っています。
	食堂	上下の差が多すぎ。フリーターの方が多すぎて、せめて御主人は安定した仕事を。今の若い方々は、現在良ければそれでよし。スーパーで買い物をする方々を見ると、高い物を買って自己満足。安くても良い物があるのに。3人の子とも買えなくて、3人で泣いて、それでも買えないお母さんのことを思うと悲しい。おばちゃんの前プレゼントだよと、つい買ってしまう私がいる。
	観光型ホテル	今のお客様は、自分が納得するもの・ことについてはお金は使ってくれる。自分で選んで消費する。
	観光型ホテル	県北振興のためにも「県北芸術祭」は、定期的で開催していただきたい。
	タクシー運転手	今日現在は12月の中頃で年末の恒例行事「忘年会」シーズンの真只中です。この前のお客様の話によると、最近忘年会の参加者が集まりにくいとのこと。特に若い世代はこの手の付き合いが悪く、用事があるとか彼女と二人きりでやるとか、はっきり断られるのだそうです。こういう話を聞けば忘年会は規模も小さくなり、盛り上がり欠け二次会・三次会に至らず、タクシー利用も少なくなってしまう、売上げも伸びません。何年か前まではこの時期忙しくて足が痛くなったことなどを懐かしく思い出されます。
	タクシー運転手	タクシー需要が減っている。
	ドライブイン	最低賃金の改定が毎年あるが、企業の利益自体が上がっていないので、なかなか厳しい。大きなベースアップとはいかないので、消費も控えめな様子。
レジャー施設	秋に開催されました「県北芸術祭」の波及効果により、県北地域は例年より賑わったと感じます。報道等のおり「県北芸術祭」は成功したと思います。	
ゴルフ場	首都圏では客層が若い方も多い気がする。毎週バスでコースレッスンで20~30名女性だけの来場がある。一極集中型になりつつある。	
ゴルフ場	リオ五輪の成果として、ゴルフ文化への関心が高まっている。笠間市の17歳高校生、畑岡奈紗選手の活躍がゴルフへの話題、関心を引いている。ゴルフは健康のためという本質的な考え方が発信されるようになった。	
住宅販売会社	来月のアメリカ新大統領就任による世界状況次第かも。	
企業	林業関係者	物価は上がれども、所得は上がらない。
	製造業（電気機械器具）	人材の確保が難しい。正社員やパートタイマーの求人を出しても応募がない状況である。
	製造業（食料品）	一部の上層部の人は豊かで、下層は生活が大変な状態。当社ではボーナスなし。
	製造業（化学工業）	金融機関によって融資のスタンスに差を感じる。
	製造業（精密機器）	人が集まらないという話を聞く。
	製造業（精密機器）	県北はだめで県外からの受注が多くなっています。仕事量がないのが問題です。
	金融業	飲食店、衣料品店などが並ぶ地元商店街は、人通りが少なく、閑散としている。若者の人口流出、消費は他市町村へ流出している印象が強い。高齢化が進んでおり、介護事業関連の新規事業進出が見られる。
運輸附帯サービス業	忘年会シーズンになり、ホテルや繁華街が活気づいている。	
雇用	求人開拓員	求人企業と人数は職種での片寄りはあるものの、全体的に増えているのは確かですが、応募者は逆に少なくなっている傾向にあると感じます。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	大洗町は、アニメの影響などもあり秋のイベントはかなりの人出があり、関連する業種は、売上げも良かったと聞いています。まず、多くの人に来てもらうことが大切だと実感しました。
	商店街代表者	物の価値観や常識のないお客様が増えている。近年は、来店するお客様のほとんどが「安い商品をお願いします。一番安い物で良いです。」とっていました。しかし、安いなりに価格の感覚がありました。(客単価3000円～5000円位ありました)最近は、「ネットで印鑑を注文したら、字が間違っていて連絡が取れないが、どうしたら良いのか」「安売り他店で印鑑ケースを買ったら朱肉が入っていないので何とかしてくれ」「A4版フルカラーチラシ印刷を1枚1円以下で出来ないか」「名刺の印刷は1枚2枚の印刷で出来ないか」「商取の契約で実印を捺印するよう相手から言われ、100円ショップで買った印鑑を実印と言って押そうとしたら拒否されたので、大きな材質の実印を手彫りオリジナルで作ってくれないか、予算は1000円以内で」と言われ無理な相談の説明をしたら、「印鑑に対するご教授ありがとうございます」と説明だけで帰りました。「500円で手彫りの印鑑を彫ってほしい」といわれ非常に難しい相談です。と私が言ったら「なぜ、出来ないのですか」納得するまでの説明時間が、30分以上かかりました。このような例が、毎日毎日あり、かつては来店するお客様の目的買いが多く来店客数の80%の受注率がありました。現在は、受注率10～20%です。この報告を作成している時も、シャチハタネームを2、3年使用していたら摩耗して、消耗品が交換しなければ不具合あり、修理したら、「お金を払ってなく支払いが出来ない」修理した交換部品を戻して帰ってもらった。商品を販売して代金を払う段階で、「財布がない」「現金がない」という信じられないお客様が何例もある。
	百貨店	慎重な方と、高額品をさらっとご購入される方、大きく2つに分かれているような気がします。(その間の方々が減られている)
	スーパー	外食産業も来店客数が減っていると聞く。
	スーパー	全体売上げは厳しいものがありますが、健康関連のサービスを導入したところ、活発に利用されており、健康への意識の高まりを感じます。
	コンビニエンスストア	ネットオークション、ネット通販を利用する年齢層が拡大しているが、特に高齢者の利用が目立ってきた。「家計を助ける」という理由の高校生のアルバイト応募が増えている反面、全体としては応募者は少なく、人手不足感が強い。
	小売業	観光庁は、28.7-9月期の訪日外国人旅行消費額が、9,717億円となり、前年同期比2.9%減少したと発表した。前年同期を下回るのは平成23年10～12月期以来4年9か月ぶりという。円高や中国当局の関税引き上げ等により、家電の大量購入に走る団体客の影を潜めているという。当空港においても、10月末からの免税店の品揃えを、家電製品中心から、消耗品中心に変更を行った。
	農産物直売所	断捨離チャレンジしている人が増えているように思う。
	レストラン	ボーナスについて今年はあるのか、下がるのかなどのお話が出ている。
	割烹料理店	全体的に元気がなく、特に大きな企業の大人数の宴会が毎年少なくなってきてます。
	観光型ホテル	労働環境、特にサービス業の人材不足で受注を控える状態が出てきているのは将来に向けての不安材料である。
	旅行代理店	旅行先に関しては、まだまだ安・近・短の傾向です。
	旅行会社	中小企業は給料も上がらず、ボーナスも出ないので日々の生活が苦しいです。贅沢は出来ないし、最低の生活をしていかなければならないですね。
	タクシー運転手	このところの繁華街のお客様は減少傾向にある。人が集まるイベントを積極的に展開して欲しい。
	ドライブイン	外国のお客様が多いと思います。
	レジャー施設	大洗町は、「ガルパン」効果がいまなお続いているが広がりを感じられない部分もある。景気となると、下支えする根拠が現時点で「見受けられない」ところである。圏央道の「つくば」開通があれば、期待できるころだが、駐車場のナンバープレートは県外者が多くなっているが冬本番に向けて、交通事情次第という視点も明るい景況感に繋がらない時期である。
	ゴルフ場	例年のとおりですがプレー客単価に伸びが見られず、今後も厳しい環境は続くものと考えています。また、当社のプレーに係る費用が周辺のゴルフ場と比較して高いと思われている。お客様から値引きの話が多く聞かれています。
	ゲームセンター	ブラックフライデーという単語を最近よく聞くようになりましたが、周辺ではあまり影響があったようにはみられませんでした。
	スーパー銭湯	県北芸術祭が実施され、私どもも優待店として協力をさせていただきましたが、県外からのお客様が少なかったため利用客が予想より大きく下まわり残念に思っています。今芸術祭に対しての宣伝が弱かったのではないかと、また宣伝するのが遅かったのではないかと思慮します。特に県外への宣伝は大切になると思います。
	ペット美容室	株が上がっても為替の変動があっても個人事業主の売上げUPにならないかと思う。厳しいです。
住宅販売会社	土地の動きが良くなってきたので、もう少しの辛抱か。	

企業	製造業(食料品)	輸出関連の話聞く機会が増えたように感じます。
	製造業(印刷・同関連業)	例年、年賀状印刷を請け負っているが今年は前年より多く出荷しているのが不思議で、自宅で印刷していた人たちが購入するようになったのか。
	製造業(一般機械器具)	飲食店もタクシーもだめな話だけです。ガソリンもじわじわ上がるのかな。観光旅行へ行けば、ほぼ外人の方が多。
	製造業(精密機械器具)	以前と比較して、特注製品の引き合いが減っている。また、工場現場設置タイプの製品引き合いも減少傾向である。工場のものづくりの現場に何らかの変化があるようです。例えば国内でもものづくりの必要がなくなったなど。
	建設業	一部の業績によるストロー現象か、経済が回ってこない。
	運輸業(道路貨物運送業)	opecの原油減産合意により燃料価格の上昇が危惧される。
	金融業	依然として消費の郊外化傾向にあるものの、地元商店街で積極的にイベント等を行っており、市内中心部への集客向上・地域活性化を図っている。
	不動産業	野菜の高騰(玉ねぎが5年前は1個8円という時もあったのに、今は広告で安くなっても1個30円。)により、家計の出費が大きくなり、賃貸の予算が影響してくる。
	サービス業(広告業)	居酒屋での話だが、忘年会の予約が昨年よりも早くて多い模様。
雇用	情報通信業(情報サービス業)	近郊の大型店で、米国譲りのブラックフライデーと銘打った商戦が展開されていたが、確かに顧客も多いと感じた。成果の程は不明だが、政府や経団連の後押しもあり、年末商戦に繋がる消費低迷打開策の一つとして定着することを期待したい。
	学校就業関係者	大学周辺は新店や改装開業のオープンが続いている。徐々に景気が上向いていることなのかは分からないが、街が明るくなって購買意欲が上がれば景気にも良い影響があるので、頑張してほしい。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	2020年のオリンピック開催に向けて、波及効果への期待感が高まっているものの、地域の実体経済には未だ反映されていない。
	スーパー	相場性の商品は別として、価格には相変わらず敏感で、全体として「デフレ脱却」になっていない様子です。
	コンビニエンスストア	昨年に比べてインバウンドでの需要が減少している。
	家電販売店	単価ダウンが目立つため、財布の紐が固くなっている傾向がある。従って、景気が上向いている感じは受けない。(今月の動向を除く)
	農産物直売所	期待していないのか、以前よりお客様や、業者様が景気の話をしてくる回数減ってきたように思う。
	小売業(食品)	お歳暮の注文は以前と比べて、少なくなった。カレンダーを頂く得意先も少なくなった。なんだろう、景気のせいだろうか。
	小売業	近くのお店が本年12月で(2店舗)廃業となった。
	和食レストラン	お金を使うところと使わないところに、消費者がはっきり区分けしてきていると感じる。
	洋食食堂	長く営業を続けた飲食店がまた一軒閉店しました。理由は分かりませんが、「継続して商いをすること」は大変なことと実感しています。時代の変化に対応できるお店だけが、生き残れるのかなと思っています。
	割烹料理店	個人的なことだが、子どもが教習所に行くようになったが、教習料の金額の高さにびっくりした。
	日本料理店	事故や事件などで自粛になることは仕方ないですが、それに伴い何十件もキャンセルになると、周り全体も含めて景気の方は悪くなると今年は感じました。
	海鮮料理店	先月、今月と、多少普段より宴会の数が多くなりましたが1人の料金設定が低い。個人で使用する金額は、なおさら低料金です。
	タクシー運転手	地域柄、出張営業で来る人が多いのだけれど、色々話をしてみると、関西、四国方面から日帰りである人が増えた気がする。企業も費用を少なくしようと思われる。
	ドライブイン	お正月の商品は、例年好調です。
	ゴルフ場	圏央道が開通すれば来場者増加が見込めるのでは。
	理・美容店	最近、服飾費の支出が増加している家庭が増えているように感じます。七五三の衣装がレンタルではなく購入の家庭が増えた。
	クリーニング店	葬式が多く香典の出費が多い。喪主はセレモニーの費用が高いので、通夜は自宅でやる人が増えている。
	住宅販売会社	やはりトランプの大統領就任が大きな話題となっている。1月以降の世界経済の動きが気になる。

企業	農業関係者	野菜の単価については、一時低価傾向で推移していたが、現在は単価も昨年並みに上がってきている。しかし、今後の天候次第で大きく変動することもあり、冬場の天候が例年より低温になるかが心配である。
	製造業（食料品）	消費者のお買上げ単価が下がっている。
	製造業（食料品）	菓子販売業なので単価も高い方ではない、特段のまとめ買いもありません。
	製造業（食料品）	地元周辺の魚料理店・スナック等の閉店や、タクシードライバーの話からも景気が上向いている感じは見られない。
	製造業（金属製品）	原油価格の変動によって、金属材料がジリジリ値上りしている。ややもすると、大手を始めとするコスト低減要求があるかも。
	建設業	労働力不足の解決策が、なかなか見つからないように思われます。
	建設業	大手分譲建売業者が入ってきております。鹿島宮津台など安価で住宅を販売しています。
	運輸業（道路貨物運送業）	先日、防犯協会の活動に参加したが、やはり高齢化で、若い人は見られない。我町内会も、今後いつまで続けられるのか心配である。
	金融業	国道124号線の拡張工事及び大手ビジネスホテルの建設等により、インフラ整備が進んでいる。
	保険業	ゴルフ場の来場者が増えている。
	不動産業	12月にビジネスホテルが1か所オープンしましたが、このホテルの近い所にもう1か所全国ホテルチェーン店が来春オープン予定です。
	サービス業	全体感として大口の依頼案件が減少して、従来であれば1回で完結する案件を細分化する等、発注に対する対応が変化しつつある。ロングスパンで見れば受注額は大きな変化はないが、短期的には期待していた売上げを下回る状況が継続している。
雇用	人材派遣業	大きな変化が見当たらず特に特徴はなし。
	民間職業紹介業	弊社においては日本人に頼れない以上、就労可能な条件にある外国人の求職者も募っている。
	公共職業安定所	請負先（製造業）における生産量の大幅な減少により、今後も好転する見込みがないことから、請負契約の解除となり約120名の事業所が閉鎖となった。
	学校就職関係者	高校での就職が好調のため、専門学校等への進学者減少の感じがする。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	スーパー	ケーキ予約が好調。昨年以上にファミリークリスマス傾向が強まっている感じがある。
	コンビニエンスストア	クリスマスなどの催事商品の動きが悪くなっています。
	家電販売店	下見の方も少ない状況。
	農産物直売所	先日、12月10日（土）10周年感謝祭のイベントを行いました。1日で510万円の売上げをあげました。そうした中でお客様が1100人来店されました。
	小売業（生花店）	10月頃からリフォーム会社の店舗オープンが立て続けに数件見られた。新築より、リフォーム需要の割合が増えているものと推測される。
	小売業（米穀）	忘年会・新年会のシーズンですが、予約状況はおもわしくないようです。ここ数年はあっても、少人数での忘・新年会です。（飲み放題付きの安価なプラン）一部、会社等大人数の忘年会も、ぼちぼち予約が入るようになったみたいですが、小さい仲間内の忘年会等、数が少なくなっているようです。同業他社の廃業がこれからも増えそうな予感がします。ディスカウントストアやドラッグストアの価格には対抗できません。近隣で2社の廃業がありました。価格では勝負にならないので、別の方法で勝負するしかないです。
	和食食堂	近隣の飲食店やサービス業の店の廃業が目立っている。
	和食食堂	笑顔のお客者が多くなった気がする。それだけで従業員も明るくなり、またお客様を笑顔にできる。好景気の第一歩か。
	日本料理店	外食よりも家食での祝い事とかに変わってきているような。お弁当、仕出しにも力を入れていこうと思っています。
	洋食食堂	関係ないですが、70～80歳の知り合いが多いんですが、皆さん知り合いの葬式等、通夜に出席するより告別式に出席する方が多くなりました。理由は、夜は足もとが暗くて転ぶと大変なので、昼の明るい式に出席してるといふ。
	寿司店	年寄りの客が多くほとんどでしたが、今年は若旦那（私の息子）の先輩とか後輩とか同級生などの友人がよく来てくれるようになり、若旦那が接客の中心となり、私は陰になり、裏方専門になりました。
	都市型ホテル	今年度、忘年会新年会受注で、弊社はあまり受注について昨年並みであるが、開催企業が減ったとのことで、少人数の部や課単位での開催をしているようであった。
	タクシー運転手	安い飲食店も衣料品店も値上げが目立ちます。
	タクシー会社	通信費を節約しようとしたら回線がうまく繋がらず、余計お客様に迷惑をかけて売上げが一時的に減ってしまった。
	ゴルフ場	米国の対外政策（経済面で特に）に影響を受けそうな気配が感じられる。（来場者との対応時に、そのような話題になる事がある）
ゴルフ場	クリスマス、忘年会等、シーズン的に活気にあふれているコースでは～杯と銘打ってコンペで賑わっている。景気は安定しているように見受けられるが、韓国・アメリカの政権等のこともあり、いま一つ信用出来ない。	

家計	ボウリング場	若年層はスマホへの全体的な経費負担が重く、他への出費が抑えられている。高齢者も老後の不安で出費は最小限に抑えられている。この現象は当分続くと思われる。
	レジャー施設	近隣地域において飲食店やホームセンター等が開店した。住宅の建て替えや新設などの工事を行っているところもあり、一時期よりは上向いているのではないかと思う。ただ、お客様から特別明るい動きは見られない。
	理・美容店	やはり、良い人と悪い人の差が大きいのだと思います。この格差の問題はなくならないと思うし、どんどん悪い方へいく気がする。
	住宅販売会社	県外からの購買層が増えてきた。勤務地が多少遠くても、より安い土地を求めているのかもしれない。
企業	農業関係者	ノミネーションが月に3回が1回になった。
	製造業（家具・装備品）	前回にもお伝えしましたが当商店会の店がやめて行きました。代々続いておりましたが、一緒にやっていた息子さんが勤めに出てしまい、年寄りだけでは不可能とのことで、また淋しくなります。
	建設業	まず年末を迎え、来年の話をしたら鬼が笑うと言われるくらい、真新しい情報などありません。相当厳しい新年になりそうな予感がします。こんな年末を迎えた年は今までになく、めずらしいのではないかと感じます。
	建設業	500m四方程度の地区なのだが、新築がここ数年増えてきている。最近では新築ばかりでなく、外壁修理などの改修工事を行う家も何軒かみられる。少しずつ、景気が上向いてきているような気がする。
	建設業	電気の自由化で、売電で売上げを伸ばしている方が、ソーラーの設置を勧めてくれた。少し前ではまだまだ利益にならないと思っていたが、今は良い副収入になるようなので、検討を始めた。
	金融業	平成28年3月1日に、土浦協同病院(病床数800床)が土浦市真鍋新町より土浦市おおつ野に新築移転し、入院患者約170人が移送された(新病院は診療科31、地上10階、駐車場約2,000台)が、人の動きに関しては、近隣での大きな変化はそれほど感じられない。また、土浦市役所が、平成27年9月24日から駅前ビル(元イトーヨーカ堂土浦店)に移転し1年以上経過するが、特段の経済効果波及には及ばないように思われる。
雇用	人材派遣業	圏央道沿線の動きが活発化しており、来秋にかけて、期待がもてる。
	公共職業安定所	特に目立った動きはなかった。
	学校就職関係者	特売日なのか、目に見えて大型量販店で渋滞する日がある。大型店の一人勝ちの傾向が強くなるのかなと見ている。
	求人開拓員	毎週1回は、HW石岡、土浦に求人情報収集に行くが、3か月前と今では求職者の数が明らかに減っている。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	土、日、祝日の人出が非常に悪い。
	商店街代表者	家族葬が多くなっています。当店は弁当仕出し部門があります。1食2,000円～3,000円の御注文が多くなりました。お茶屋さんは香典返しは少なくなったと嘆いています。
	スーパー	各社、競争店のチラシ価格が3か月前にはないくらいの低価格競争となっている。
	農産物直売所	今年は台風などの影響で青果物生育への影響が大きく、販売結果としては高価格で推移しています。マスコミはこぞって八百屋さんのコメントを流し、お客様の声を拾い大々的に報道しています。しかし生産農家の実態は丹精込めた野菜が収穫できず、腐って収量は上がらず、結果としての収入は平年と変わらないのです。常識のある人が報道業界には居ないと感じています。
	専門スーパー	日常生活用品の買ひ物は比較的堅実だが、趣味や健康用品にお金を使うお客様が増えているように見える。
	製茶販売	ふるさと納税等は、お金に余裕のある人のみを得をする傾向が強くなっている。底辺の人間は何の得もない。
	和食食堂	気になるのはアメリカ大統領が替わり、どのような政策を出してくるのか、それが日本の経済に悪い影響を与えないかが心配です。
	日本料理店	地方の人手不足は深刻化しており、政治の言う残業のない社会など空想仏のように思われる。もちろん体を害するような長時間労働は禁止すべきだが、働くことが悪であるような情報はやめて、楽しく豊かに生活できるように作っていただきたい。
	飲食業	やはり不景気ですね。パイは少なくないと思います。しかしその少なくないパイを、快適な冷暖完備の大型複合施設や、安価が売りとする寿司屋さんがお子様からご高齢の方までのファミリー層をサイドメニューでカバーして、集客を高めていますね。
	都市型ホテル	建設関係、工事等、ボーナスが昨年より良かったとの話を数か所で耳にしました。
	旅行代理店	農家の方が、お米はあまりにも安いので、生活できないと言っていた。倍値にならねば農家は倒産するしかない、廃業するか、小作に出すしかない。スーパーへ買い物に行っても、本当に必要な物だけ買うが、贅沢はできないと皆さんが口をそろえて言っていた。
	タクシー運転手	米国の新政権の運営次第。
タクシー運転手	去年より旅行客が増加したことにより成田空港、羽田空港への送迎が多いように思われます。	

家計	レジャー施設	特に大きな変化は見られない。ただ相変わらず1人当たりの消費金額は少しずつではあるが下がっていると思う。お店などの陳列商品も売れずに値引きをする商品が増えているように見える。
	理・美容店	圏央道の開通に期待したい。
	商店街代表者	経済格差が大きくなった気がする。
	建築設計事務所	業界問わず、忙しい会社とそうでない会社の差がはっきり見てとれる。建築関係の職人達が依頼側の足元を見て腕前以上の報酬を要求している。
	住宅販売会社	賞与が期待ほど良くなかった、という話を良く耳にするようになった。
企業	製造業（食料品）	車の買い替え周期を伸ばしたり、忘年会の回数を減らしたり、お歳暮の人数を絞ったりしている人が周りに結構いる。決して景気が良くなっているとは思わない。
	製造業（印刷・同関連業）	電通の過重労働、そして自殺の件が社会問題になっているが、そのせいかわからないが、過日、一政治家が「金曜日も半日労働にしてはー。」と発言した。時短問題が起きるたびに地方の商店のシャッターがしまり、中小零細企業が廃業したり、倒産するのをなんで解らないのか。都市への一極集中が益々増える要因になるのの一。「地方あつての日本」を忘れないで欲しい。
	製造業（印刷・同関連業）	10万人規模の地方都市、商店街等がますます崩壊していくように感じる。将来に向けての行動、まとまり等がますます薄れていくように感じる。若年層の他所への転出、転居等の傾向から特にそれを感じる。
	製造業（窯業・土石製品）	多くの人が、ほとんどの場面で出費を抑える工夫をしている。これでは景気回復は遠いのでは。資産、資金のある人から、有意義な投資や支出をして欲しい。
	製造業（窯業・土石製品）	現在の日本においては物作りのメーカー、製造業より非生産的な介護、福祉産業のようなサービス業が仕事があり、利益を得ているように思います。本当の成長発展とは、より生産的な製造業である。重厚長大型の業種が、大きな利益を上げなければ国の成長発展はありえません。なぜならば、我国は資源のない加工貿易立国だからです。
	製造業（金属製品）	政府の意向にもあるように、大手と中小企業の社員の年収の差は益々大きなものになる。従業員の確保に難しさが増す。
	建設業	大型店の開店などもあり、近隣の商店などの売上げに影響があると思われます。
	金融業	昨年まで不動産売上の動きが多少見られたが、今期は不動産売上の動きは鈍くなっている。土木建設業者の受注回復は見られるも、人材不足や従業員の高齢化により、作業効率が悪く、利幅は少ない。
	不動産業	日野自動車の社員ならび関連会社が戸建用地、駐車場用地を探すなど動きが活発化してきている。
サービス業（コンサルタント業）	日野自動車の稼働に併せて新4号国道付近に物流センター等の建設が盛んに行われております。非常に工事現場周辺は賑わいを見せていますが、よく見ると工事業者が他県の業者でやはり地元業者ではない、従って賑わいはあるが地元の景気に影響を及ぼすとは考えにくい。しかし賑わいもないよりはあったほうが良いのではと思う、またこれらの施設が完成すれば多少は地元雇用等も生まれるのではないかと期待をしております。	
雇用	人材派遣業	変化なし。
	求人広告	倒産企業がここ数年で一番多いように感じる。取引会社、お客様ともに倒産している。飲食店なども閉店予定が数件耳にする。
	公共職業安定所	ハローワーク内にある求人検索用のパソコンの利用者数が約3割減少している。
	学校就職関係者	野菜の高騰。年金・共済保険の加入（扶養範囲内の収入にもかかわらず、夫の扶養手当も減収）。